

資料編

部位の設定について

- ・基礎、軸組、床組、小屋組は特記がない限り全て基準 1-a とする。
- ・床組のうち近年に改修された部材は基準 3 とする。

1 計画の体制

1 計画の体制

(1) 歴史的建造物保存活用計画作成委員会

	役職	氏名	所属、経歴等	専門等
1	委員長	朽木 量	千葉商科大学 政策情報学部長・教授 習志野市文化財審議会委員 市川市市史編さん委員	学識経験者
2	副委員長	金出 ミチル	東京藝術大学大学院 非常勤講師 鎌ヶ谷市文化財審議会委員 副委員長	学識経験者
3	委員	小関 悠一郎	千葉大学 教育学部 准教授 東京学芸大学 非常勤講師 千葉市文化財保護審議会委員 茂原市市史編さん委員会委員長	学識経験者
4	委員	秦野 政則	佐津間自治会長（令和4年度）	地域住民 の代表
		小池 隆	佐津間自治会長（令和5年度）	
5	委員	五月女 晃人	商工振興課長	市職員
6	委員	市村 昌子	文化・スポーツ課長	市職員
7	委員	三石 宏	郷土資料館長	市職員

(2) オブザーバー

千葉県教育庁 教育振興部 文化財課

(3) 事務局

鎌ヶ谷市教育委員会 生涯学習部 文化・スポーツ課

受託者：株式会社文化継承建築設計事務所（委託期間は令和4年〔2022年〕10月から令和7年〔2025年〕3月までで、そのうち、令和4年〔2022年〕10月から令和6年〔2024年〕3月までの間に計画作成業務を実施した）

2 用語解説

2 用語解説

第1章 計画の概要

ページ数	用語	解説
1 1	寄棟造 (よせむねつくり)	四方に流れる屋根のうち棟を持つもの
1 1	小屋組 (こやぐみ)	比較的大張りの構造物に用いられる架構。屋根自重や屋根面に作用する風圧力や積載荷重などの外力を柱や壁に伝える
1 1	矩勾配 (かねこうばい)	4 5度の傾斜
1 1	扱首 (さす)	棟木を支えるための合掌形の斜材
1 1	梁間 (はりま)	建物の短手方向 桁行：建物の長手方向
1 1	棟高 (むねだか)	地盤面より大棟の上端までの高さ
1 1	セガイ	近世の民家において側柱上部から腕木を突き出して小板を張った棚を持つもの
1 1	化粧垂木 (けしょうたるき)	軒下や室内から見えるようなところに現れている垂木の総称
1 1	間 (けん)	長さの単位、1 間 = 6 尺 = 約 1, 8 1 8 mm
1 1	尺 (しゃく)	長さの単位、1 尺 = 約 3 0 3 mm
1 1	柱間 (はしらま)	柱と柱の間の距離、またはその空間
1 1	軸部 (じくぶ)	建築物の土台と小屋組の間にある骨組み部分
1 1	鉤の手 (かぎのて)	直角に曲がっていること
1 1	濡れ縁 (ぬれえん)	家屋の外側に設けられる雨ざらしの縁側
1 1	式台 (しきだい)	住宅における公式の出入口
1 3	和釘 (わくぎ)	手加工の釘、角形が多い
1 3	洋釘 (ようくぎ)	円形断面の鉄線から機械で作られる丸釘
1 3	妻 (つま)	棟と直角の側面
1 3	豎板張り (たていたばり)	柱または間柱に胴縁を水平に取り付け、これに板を打ち付けたもの。 胴縁：壁において羽目板などを取り付けるための水平材
1 3	目板 (めいた)	板の継目に打ち付けられた幅の狭い板
1 3	棧瓦 (さんがわら)	棧瓦葺きに用いる断面が波形の瓦
1 3	蔵前 (くらまえ)	蔵の前の室または廊下などがある空間
1 5	布基礎 (ぬのきそ)	壁の長さ方向に連続した同じ断面の基礎
1 5	添え柱 (そえばしら)	柱に添え付けた補強の小柱

2 用語解説

1 5	控え (ひかえ)	門や塀などが傾くのを防ぐために設けられた支柱
2 3	切妻造 (きりつまつくり)	大棟から両側に流れを持つもの
2 3	下見板 (したみいた)	壁の横板張りで、板を下から互いに少しずつ重なり合うように取り付けられたもの 下見板張：土壁を風雨などから保護するため、板の長さ方向を水平にして張った板壁
2 3	登り梁 (のぼりばり)	木造の小屋組において傾斜して架けられた梁
2 3	薬医門 (やくいもん)	2本の本柱と2本の控え柱で立ち、切妻などの屋根を架ける門の形式
2 3	冠木 (かぶき)	門柱の上端に架けられた桁行方向の材
2 3	女梁 (めばり)	伝統的な門の冠木と直角方向に柱から二重に梁が差されている場合、下方の短い梁
2 3	男梁 (おばり)	伝統的な門の冠木と直角方向に柱から二重に梁が差されている場合、上方の長い梁
2 3	束 (つか)	短い垂直材の総称

第2章 保存管理計画

ページ数	用語	解説
2 9	差し掛け (さしかけ)	本屋の外壁に接して設けられた片流れの屋根、またはその下にある空間
3 2	小舞 (こまい)	屋根や壁の下地で竹や貫を縦横に組んだもの
3 3	天袋 (てんぶくろ)	天井面に接して造られる扉または戸付きの戸棚。床脇の最上部に設けられた袋戸棚 床脇：床の間の脇に棚などをしつらえたもので、床の間や書院と共に床構えを構成する
3 5	タスキ欄間 (たすきらんま)	タスキは線、紐、棧などを斜めに十字に交差させることで、タスキ欄間はそのような意匠をした欄間のこと
3 5	吹き寄せ菱欄間 (ふきよせひしらんま)	菱欄間は格子や組子に菱意匠を用いた欄間のことで、吹き寄せは格子などを2本または数本ずつ間隔を詰めて一組とし、その組と組みとは間隔を広くして配置すること
3 5	付書院 (つけしょいん)	書院造りの床の間脇の縁側沿いに設けられた、装飾的な窓形式の装置
3 5	上がり框 (あがりかまち)	玄関などの上がり口に付ける框
3 5	羽目板 (はめいた)	板をその幅方向につないで張った壁の張り方
3 7	平入 (ひらいり)	建物の長手側に入口のあること

2 用語解説

37	真壁（しんかべ）	柱が外面に現れる壁
38	一間一戸（いっけんいっこ）	正面の柱間が1間で、その柱間を通路とするもの
38	飼物（かいもの）	2材の間に挟む小片。両材の間隔を保ち、また2材が接触することを防ぐために挿入する。

第2章 保存管理計画（部位の設定） 42ページ

区分	用語		解説
基準 1-a	基礎	礎石（そせき）	建物の壁または柱下の石
		束石（つかいし）	1階床組で床束を立てるために据える石 床束：1階の床を支える束（短い垂直材）
	軸組	土台（どだい）	柱の下部に配置して柱から伝えられる荷重を基礎に伝える役割を果たす横材
		差物（さしもの）	断面の大きい内法材 内法材：敷居から鴨居までにまつわる造作材
		虹梁（こうりょう）	化粧を兼ねた梁
		牛梁（うしばり）	小屋梁が長大にわたる場合その途中で受ける断面の大きな梁
		登り梁（のぼりばり）	小屋組において傾斜して架けられた梁
		冠木（かぶき）	門柱の上端に架けられた桁行方向の材
		腕木（うでき）	柱または梁などから持放しで出した横木や桁などを支持する部材
		肘木（ひじき）	側柱より突き出た軒桁を支持する持ち送り材
	床組	根太（ねだ）	床板を受ける横架材
		大引（おおびき）	最下階床の根太を支える横木
		束（つか）	短い垂直材の総称
		貫（ぬき）	柱を貫いて相互につなぐ横木
	小屋組	棟木（むなぎ）	小屋の頂部に桁行方向に取り付ける横木
		隅木（すみぎ）	寄棟造などの屋根において出隅の稜線に沿って傾斜する棟を支えている木
		母屋（もや）	小屋組において、棟あるいは軒桁に平行して垂木などを支える部材
		扱首（さす）	棟木を支えるための合掌形の斜材
	床	畳床（たたみどこ）	よく乾燥した稲わらを麻糸などで縦横に縫い固めて作られた畳の台
	壁	小舞竹（こまいたけ）	小舞下地に使用する細割した竹

2 用語解説

			小舞:屋根や壁の下地で竹や貫を縦横に組んだもの
	天井	根太天井 (ねだてんじょう)	大引や根太に厚い床板を張り階下の天井としたもので根太が露出している天井
		竿縁天井 (さおぶちてんじょう)	竿縁を並べその上に天井板を張った天井 竿縁:天井板の下板を支えるため、または化粧として、それと直角に配された細い材の総称
	金物	釘隠し (くぎかくし)	長押などを打ち付けている大釘の頭を隠すための化粧金具
		肘壺金物 (ひじつぼかなぐ)	肘金物と壺金物とを組み合わせで丁番と同様の機能を持たせた金物
		門 (かんぬき)	門扉または開口部の扉を閉じ固めるための横
		引手金物 (ひきてかなもの)	建具などを開けるための手を掛ける金物
	造作	長押 (なげし)	柱を両面から挟み付けて大釘で打ち留めて固定した横材の総称
		落とし掛け (おとしがけ)	上部の小壁下に架け渡してある横木
		床板 (とこいた)	床の間の床 (ゆか) に張る地板
		蹴込み板 (けこみいた)	蹴込み床 (けこみとこ) で床板と畳寄せとの間にはめ込んである1枚の厚板 蹴込み床:略式の床の間の形式のひとつ
		床框 (とこがまち)	床の間の前端に設けられる化粧框
		甲板 (こういた)	上面の板
	その他	押板 (おしいた)	近世の床の間の原形のひとつ
基準 1 - b	雨にさらされ傷みやすい外部	屋中竹 (やなかたけ)	草葺き屋根の屋中として用いられる竹 屋中:草葺き屋根の建物において叔首の上に等間隔で並べられる水平材
		化粧垂木 (けしょうたるき)	軒下や室内から見えるようなところに現れている垂木の総称
		垂木裏板 (たるきうらいた)	軒下や室内から見えるようなところに現れている化粧垂木の裏側にある板
		軒天井 (のきてんじょう)	軒部分の天井
		野地板 (のじいた)	屋根葺き材の下地材
		広小舞 (ひろこまい)	軒先において垂木の最先端に打ち付ける幅の広い横木
		茅負 (かやおい)	一軒の屋根なら垂木の端部、二軒の屋根なら飛えん垂木の端部に載る横木

2 用語解説

		破風板 (はふいた)	屋根の妻側において山形に取り付けられた板
		簷子 (ささらこ)	下見板を押さえる押縁で、背面が羽重ね下見板に合わせた刻みを付けたもの
		押縁 (おしぶち)	板状の部材の継目を押さえ留めるために取り付ける細い材
		羽目板 (はめいた)	板をその幅方向につないで張った壁の張り方
		柄振板 (えぶりいた)	柄先の横板のように小庇の垂木形や塀の出桁などの端を隠すための化粧板
		木口 (こぐち)	木材の切り口のこと
	日常的によく使われ機能維持が必要な部分	三和土 (たたき)	土またはコンクリートで仕上げた土間床
		畳寄 (たたみよせ)	畳と壁の下部との接合部分にできる隙間を納める細い横木
		廻縁 (まわりぶち)	天井と壁の接する部分にまわす見切り縁
		差鴨居 (さしかもい)	通常の鴨居の高さよりも高く鴨居を付けたもので構造材でもある。
基準 2	—	畳表 (たたみおもて)	畳床の上に掛けるい草の茎で作られた敷物

第3章 環境保全計画

ページ数	用語	解説
59	ホゾ穴 (ほぞあな)	ホゾを差し込むための穴 ホゾ：2部材を接合するために1材の端に作り出した突起

第4章 防災・防犯計画

ページ数	用語	解説
73	在来工法 (ざいらいこうほう)	以前から用いられている一般的な建物の施工方法

※建築用語の参考

株式会社彰国社『建築大辞典 第2版<普及版>』1998年4月10日 第4刷

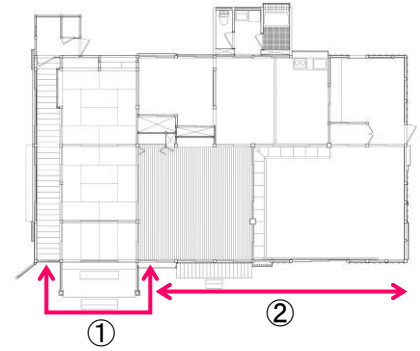
2 部位の設定（主屋：外部）

2 部位の設定

(1) 主屋

ア 外部

保存部分：東面



建具

格子（内側、木）：基準 1-b
 ガラス窓（外側）：基準 1-b
 ※はめ殺し

造作

タスキ欄間：基準 1-b
 ※欠損



壁
 袖塀：基準 1-b

その他
 踏台：基準 1-b

その他
 沓脱石：基準 1-a

壁
 漆喰壁：基準 1-b

屋根
 庇：基準 1-b

建具
 格子（木）：基準 1-b

壁
 下見板・箆子
 : 基準 1-b

その他
 コンクリート三和土
 : 基準 3

①

屋根

瓦風鉄板（外側）：基準 2
 茅（内部）：基準 2

屋根
 化粧垂木：基準 1-b
 垂木裏板（鉄板）：基準 1-b
 軒天井：基準 1-b
 茅負など（鉄板で成型）：基準 1-b
 化粧金物（木口）：基準 1-b

その他
 照明：基準 3

その他
 換気窓：基準 1-b

壁
 漆喰壁：基準 1-b

壁
 水切り（漆喰・木）
 : 基準 1-b

壁
 下見板・箆子
 : 基準 1-b

建具
 戸袋（木）：基準 1-b

建具 ※新
 雨戸（アルミ）：基準 3
 網戸（アルミ）：基準 3

その他
 濡れ縁：基準 1-b



その他
 沓脱石 ※年代不明

その他
 板：基準 1-b

②



2 部位の設定（主屋：外部）

保存部分：北面



木材（用途不明）：基準 1-a

壁
鉄板 ※応急修理

壁
水切り（木）：基準 1-b

屋根
軒天井（合板） ※応急修理

屋根
化粧垂木：基準 1-b
垂木裏板（鉄板）：基準 1-b
軒天井：基準 1-b
茅負など：基準 1-b
化粧金物（木口）：基準 1-b

壁
漆喰壁：基準 1-b

建具
格子（木）：基準 1-b
板戸：基準 1-b
※板戸は動かない

建具
戸袋（木製）：基準 1-b

壁
板 ※応急修理

壁
下見板・籠子：基準 1-b

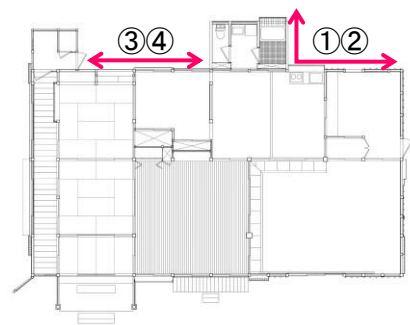
<応急修理前>



庇は部材を保管中

2 部位の設定（主屋：外部）

保存部分：西面
 保全部分：ベンジョ
 その他の部分：増築部分



壁
 合板 ※応急修理

壁
 水切り (木) : 基準 1-b

壁
 下見板・箆子
 : 基準 1-b

壁
 鉄板 ※応急修理



①

屋根
 庇 : 基準 1-b

造作
 持ち送り : 基準 1-b

壁
 横板 : 基準 1-b



③

建具
 格子 (木) : 基準 1-b

壁
 土壁 : 基準 1-b

壁
 横板 : 基準 1-b
 土壁保護のため後設か

壁
 水切り (木) : 基準 1-b

壁
 下見板・箆子
 : 基準 1-b

<応急修理前>

壁
 横板 : 基準 1-b
 土壁保護のため後設か

壁
 土壁 : 基準 1-b
 黒色は煤による

屋根
 化粧垂木 : 基準 1-b
 垂木裏板 (鉄板) : 基準 1-b
 茅負など : 基準 1-b
 化粧金物 (木口) : 基準 1-b

壁
 土壁 : 基準 1-b



②

増築部分 : 基準 3

建具
 格子 (木) : 基準 1-b

建具 ※新
 出窓 (アルミ) : 基準 3



④

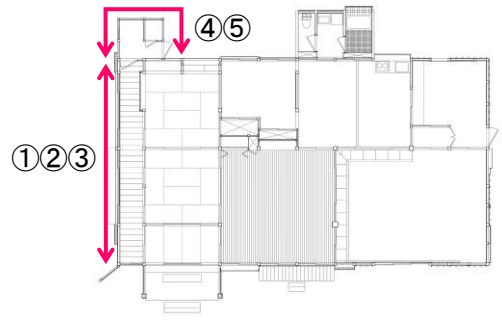
建具 ※新
 雨戸 (アルミ) : 基準 3

壁 ※新
 鉄板 : 基準 3

2 部位の設定（主屋：外部）

保存部分：南面

保全部分：ベンジョ



壁
横板（風塞ぎのため）：基準 3
欄間に後設

建具 ※新
戸袋（両側、アルミ）：基準 3
網戸（アルミ）：基準 3
雨戸（アルミ）：基準 3

壁
柄振板：基準 1-b



①

壁
羽目板：基準 1-b

その他
濡れ縁：基準 1-b



②

壁
横板：基準 1-b



③



④便所（復旧）

屋根 ※新
波板トタン：基準 3

建具
板戸：基準 1-b

壁
漆喰壁（垂れ壁）：基準 1-b

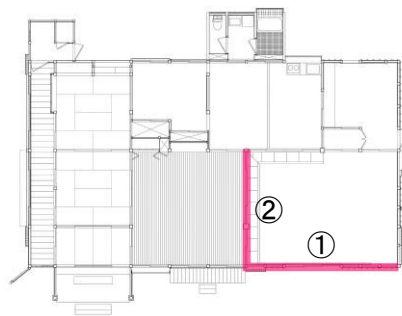


⑤

2 部位の設定（主屋：内部）

イ 内部

保存部分：ドマ（手前）①



建具（潜戸）
板戸：基準1-b
鴨居・敷居：基準1-b

建具
ガラス戸（腰板）：基準1-b
鴨居・敷居：基準1-b

建具
板戸：基準1-b
鴨居・敷居：基準1-b

壁
合板 ※応急修理

壁
土壁：基準1-a

壁
板壁：基準1-a

その他
インターホン・当て板
：基準3



①

建具
板戸：基準1-b
差鴨居・敷居：基準1-b
障子紙：基準2

壁
土壁：基準1-a

建具
板戸・ガラス：基準1-b
差鴨居・敷居：基準1-b

建具
板戸：基準1-b
差鴨居・敷居：基準1-b
障子紙：基準2

造作
羽目板：基準1-b

その他
沓脱台：基準3

床
三和土（たたき）：基準1-b

その他（用途不明）
四角形の縁がある遺構：基準1-a
用途不明

その他
引戸・引き出し：基準1-a

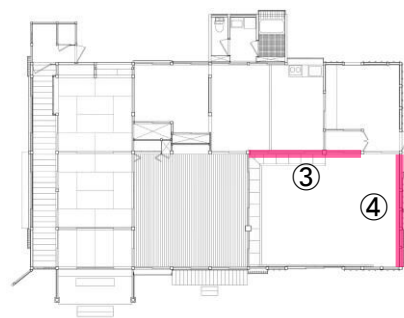
その他
照明：基準3



②

2 部位の設定（主屋：内部）

保存部分：ドマ（手前）②



建具
板戸：基準 1-b
差鴨居・敷居：基準 1-b
障子紙：基準 2

建具
板戸：基準 1-b
鴨居・敷居：基準 1-b
障子紙：基準 2

造作
羽目板：基準 1-b

③



壁
土壁：基準 1-a

壁
板壁：基準 1-a

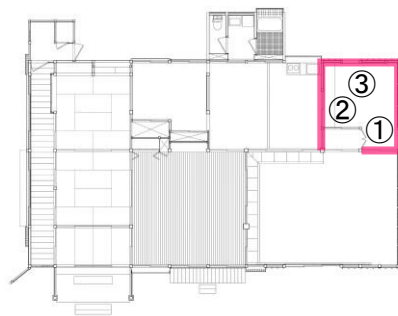
建具
板戸：基準 1-b
鴨居・敷居：基準 1-b

その他
コンクリート遺構：基準 1-a
用途不明

④

2 部位の設定（主屋：内部）

保存部分：ドマ（奥）



その他 ※新
換気口：基準 3

天井
根太天井：基準 1-a

その他
棚：基準 1-b

壁
板壁：基準 1-a

建具
板戸：基準 1-b
鴨居・敷居：基準 1-b



①

建具
ガラス戸（腰板）：基準 1-b
鴨居・敷居：基準 1-b



壁
土壁：基準 1-a

壁 ※新
新材：基準 3

建具 ※古い
差鴨居：基準 1-b

その他 ※新
小上がり：基準 3

②

建具 ※新
ガラス戸：基準 3
鴨居・敷居：基準 3

その他
排気管：基準 3

壁
板壁：基準 1-a

壁
土壁：基準 1-a

壁
合板 ※応急修理

建具
格子（木）：基準 1-b

その他
棚（一部）：基準 1-b



③

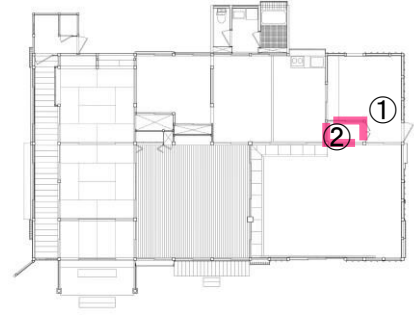
その他
三和土（たたき）：基準 1-b

建具
板戸：基準 1-b
鴨居・敷居：基準 1-b

その他
水道：基準 3

2 部位の設定（主屋：内部）

保存部分：フロバ



壁
板（垂れ壁）：基準 1-a

その他
配管：基準 3



壁
板壁：基準 1-a

建具（入口）
ガラス戸（腰板）：基準 1-b
鴨居（無目）：基準 1-b
※ガラス欠失、敷居なし

建具
ガラス窓：基準 1-b
※ガラス欠失、はめ殺し

その他
風呂の蓋：基準 1-b

その他
水道：基準 3

壁
板壁：基準 1-a

①



壁
板壁：基準 1-a

建具
ガラス窓：基準 1-b
※ガラス欠失、はめ殺し

その他
水道：基準 3

造作
羽目板：基準 1-b

その他
ドラム缶：基準 3
用途不明

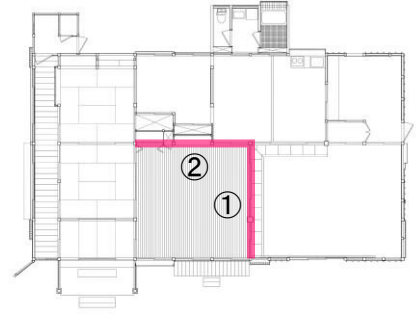
壁
板壁：基準 1-a
※破損したもの

その他
コンクリート：基準 1-b

②

2 部位の設定（主屋：内部）

保存部分：ザシキ①



板戸・ガラス：基準 1-b
差鴨居・敷居：基準 1-b

その他
インターホンスピーカー：基準 3

建具
板戸：基準 1-b
差鴨居・敷居：基準 1-b
障子紙：基準 2

壁
漆喰壁：基準 1-a

※その他資料
ガラス破損部を
ポスターで塞ぐ



①

その他
照明：基準 3

その他
神棚：基準 1-a

天井
根太天井：基準 1-a
天井桁：基準 1-a

壁
漆喰壁：基準 1-a

その他
押板：基準 1-a
下部の棚：基準 1-a

その他
仏壇：基準 1-a
下部の棚：基準 1-a
仏壇脇の棚：基準 1-a



②

造作
長押：基準 1-a

建具
板戸：基準 1-b
鴨居・敷居：基準 1-b
障子紙：基準 2

床
床板：基準 1-b

2 部位の設定（主屋：内部）

保存部分：ザシキ②



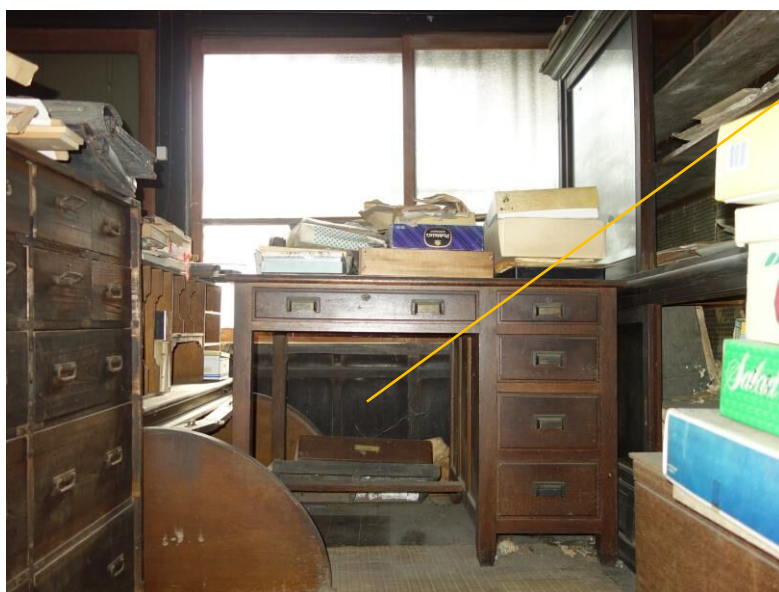
建具 ※新
ガラス戸：基準 3
鴨居・敷居：基準 3

造作
長押：基準 1-a



その他
プレーカー・当て板
：基準 3

③

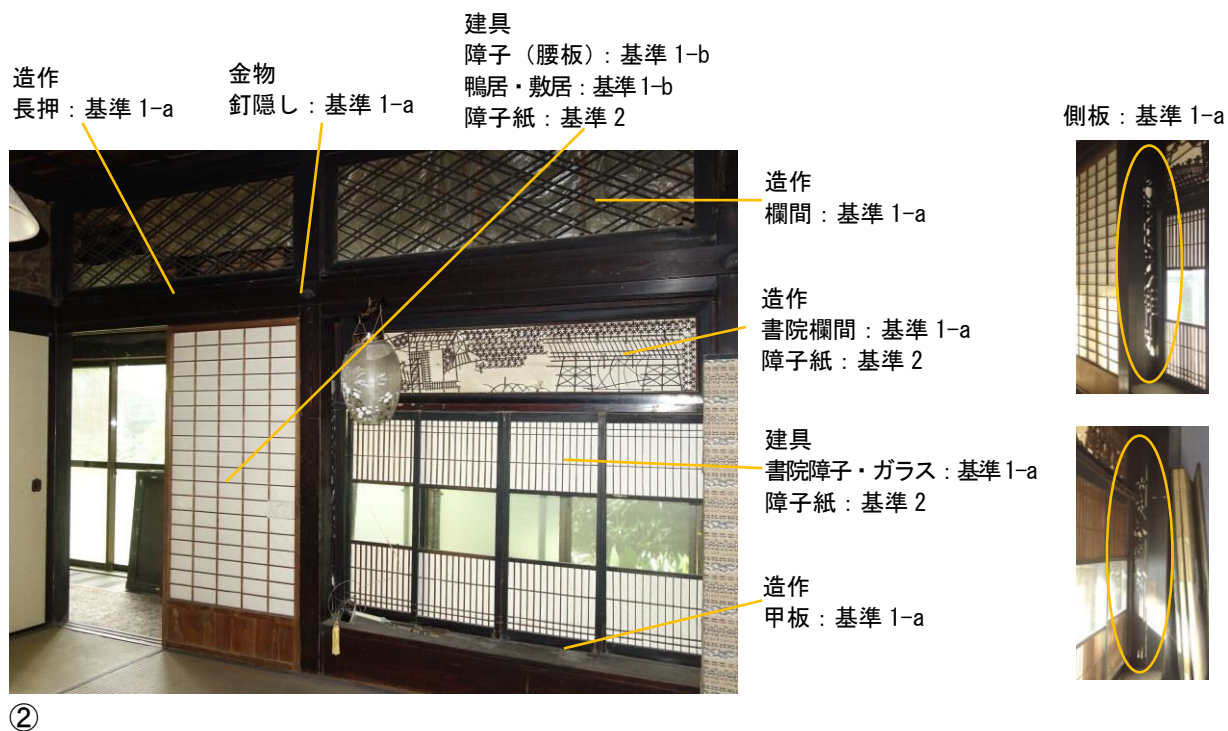
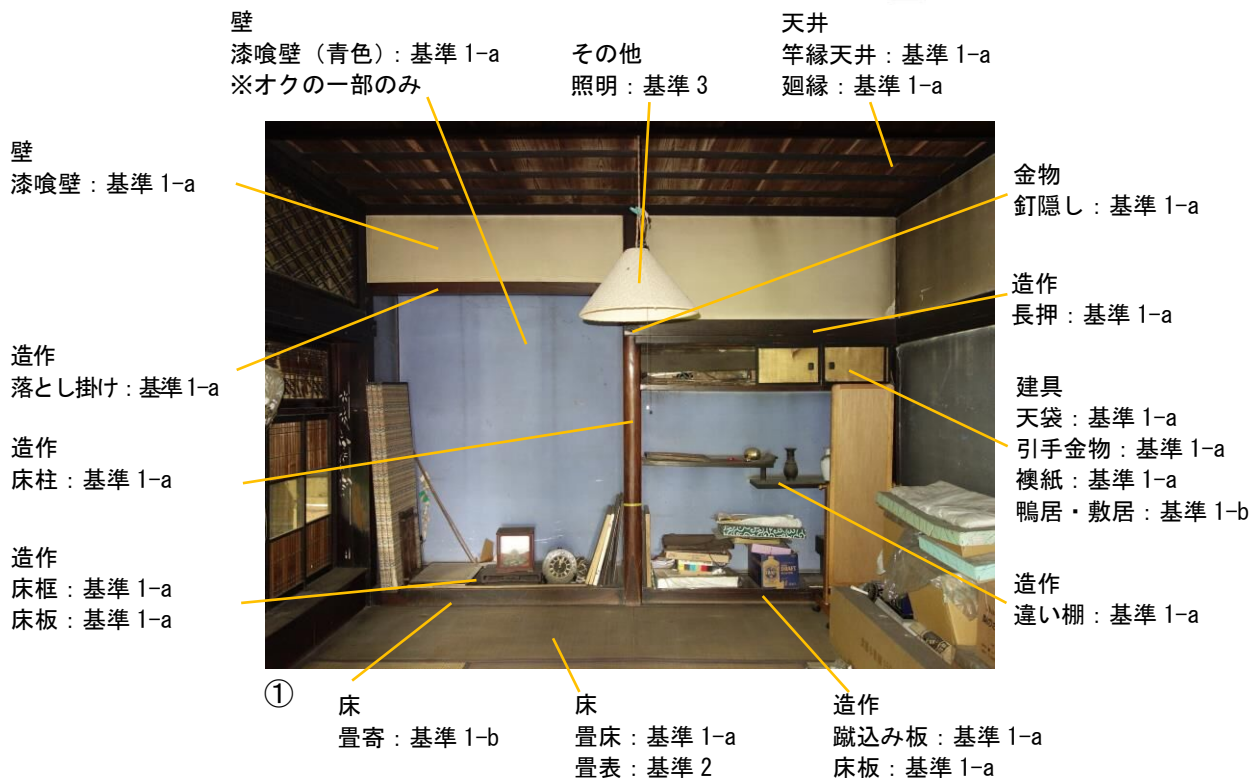
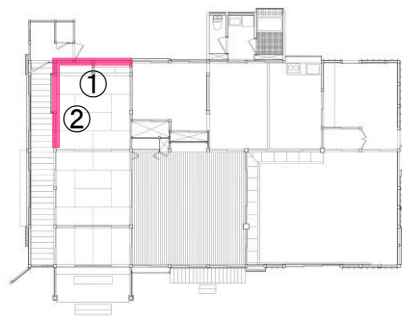


その他（押入）
板戸：基準 1-a
鴨居・敷居：基準 1-b

④

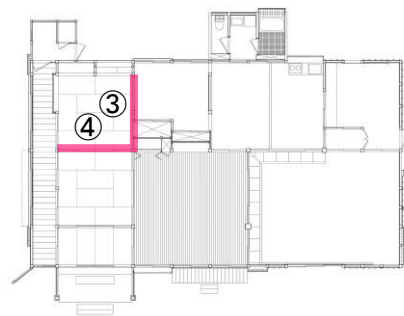
2 部位の設定（主屋：内部）

保存部分：オク①



2 部位の設定（主屋：内部）

保存部分：オク②



金物
釘隠し：基準 1-a
※欠失



壁
漆喰壁：基準 1-b

造作
長押：基準 1-a

壁
漆喰壁（青色）：基準 1-a
※オクの一部ののみ

床
畳寄：基準 1-a

①

金物
釘隠し：基準 1-a



造作
欄間：基準 1-a

造作
長押：基準 1-a

建具
引手金物：基準 1-a
襖：基準 1-b
鴨居・敷居：基準 1-b
襖紙：基準 2

②

2 部位の設定（主屋：内部）

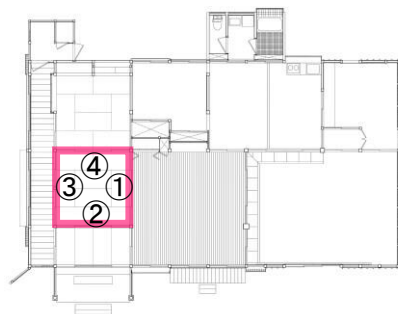
保存部分：ナカノマ



壁
漆喰壁：基準 1-a

建具
板戸：基準 1-b
差鴨居・敷居：基準 1-b

①



建具 ※保管中
板戸：基準 1-a
差鴨居・敷居：基準 1-b

壁
漆喰壁：基準 1-a



蚊帳を吊る金具

②

金物
釘隠し：基準 1-a

造作
長押：基準 1-a

建具
障子（腰板）：基準 1-b
鴨居・敷居：基準 1-b
障子紙：基準 2

造作
欄間：基準 1-a



③

天井
竿縁天井：基準 1-a
廻縁：基準 1-a

その他
照明：基準 3

金物
釘隠し：基準 1-a

※その他資料
幕



天井
廻縁：基準 1-a

造作
長押：基準 1-a

建具
引手金物：基準 1-a
襖：基準 1-b
鴨居・敷居：基準 1-b
襖紙：基準 2

床
畳床：基準 1-a
畳表：基準 2

④

2 部位の設定（主屋：内部）

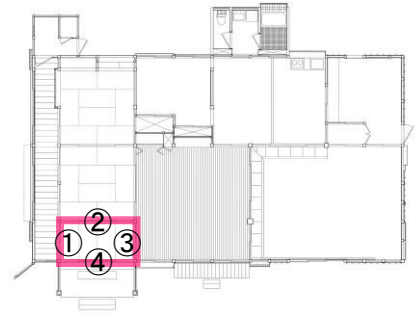
保存部分：ゲンカン



壁
漆喰壁：基準1-a

造作
長押：基準1-a

建具
障子（腰板）：基準1-b
鴨居・敷居：基準1-b
障子紙：基準2



①

建具
板戸：基準1-b
差鴨居・敷居：基準1-b

壁
漆喰壁：基準1-a



天井
竿縁天井：基準1-a
廻縁：基準1-a

壁
漆喰壁：基準1-a

その他
照明：基準3



③

②

建具
板戸：基準1-b
差鴨居・敷居：基準1-b

建具 ※新
ガラス戸（腰板）：基準3
差鴨居・敷居：基準1-b
金物レール：基準3

床
畳床：基準1-a
畳表：基準2



④

2 部位の設定（主屋：内部）

保存部分：縁

建具 ※古い
差物鴨居（無目）：基準 1-a

建具（外周部）
欄間：基準 1-b



天井
竿縁天井：基準 1-a
廻縁：基準 1-a

造作
長押：基準 1-a

壁
漆喰壁：基準 1-a

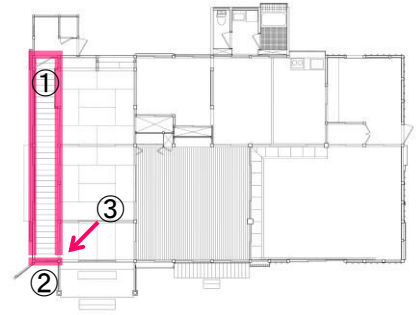
壁（板戸脇）
板壁：基準 1-a

建具
板戸：基準 1-b
鴨居・敷居（無目）：基準 1-b

①

建具 ※新
ガラス戸（アルミ）：基準 3
鴨居・敷居：基準 3

建具 ※古
敷居（無目）：基準 1-a



床板：基準 1-b

②

壁
漆喰壁：基準 1-a

建具
障子・ガラス：基準 1-b
障子紙：基準 2
※はめ殺し



造作
長押：基準 1-a

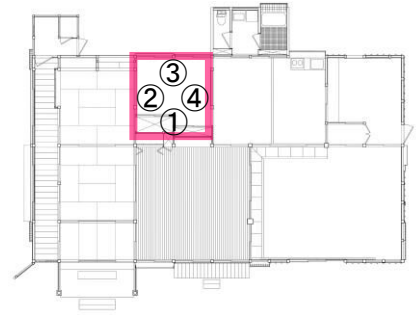
壁 ※新
合板：基準 3

③

2 部位の設定（主屋：内部）

保全部分

保全部分：ヘヤ



壁
板壁：基準 1-a

軸部 ※新
柱：基準 3

建具 ※新
合板：基準 3
鴨居・敷居：基準 3

壁 ※奥側・古い
板壁：基準 1-a

間仕切り壁 ※新
合板：基準 3

床 ※新
合板：基準 3

①

※その他資料
和紙



②



③

建具 ※新
ガラス窓：基準 3
鴨居・敷居：基準 3

建具 ※新
ガラス窓（アルミ）：基準 3
鴨居・敷居：基準 3

その他
照明：基準 3

天井
根太天井：基準 1-a
天井桁：基準 1-a

壁
漆喰壁：基準 1-a

建具 ※新、建具なし
鴨居・敷居（無目）：基準 3

壁
板壁：基準 1-a

建具 ※建具なし
鴨居・敷居（無目）：基準 1-a

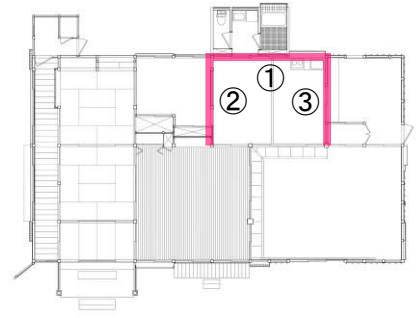
床 ※新
タイル：基準 3



④

2 部位の設定（主屋：内部）

保全部分：チャノマ



建具 ※新
ガラス戸（アルミ）：基準 3
鴨居・敷居：基準 3

建具 ※古・建具なし（奥側）
鴨居・敷居：基準 1-b

その他
換気扇：基準 3

壁
板壁：基準 1-a
和紙：基準 1-a

※その他資料
土壁の破損部をポスターで塞ぐ



①

造作 ※新
長押：基準 1-a



②

造作
長押：基準 1-a

その他 ※古い
棚：基準 1-a

壁※新
新建材：基準 3

その他
照明：基準 3

天井
根太天井：基準 1-a
天井桁：基準 1-a



壁
土壁：基準 1-a

建具 ※古
差鴨居：基準 1-b

建具 ※新
ガラス戸：基準 3
鴨居・敷居：基準 3

③

建具 ※新
ガラス戸（アルミ）：基準 3
鴨居・敷居：基準 3

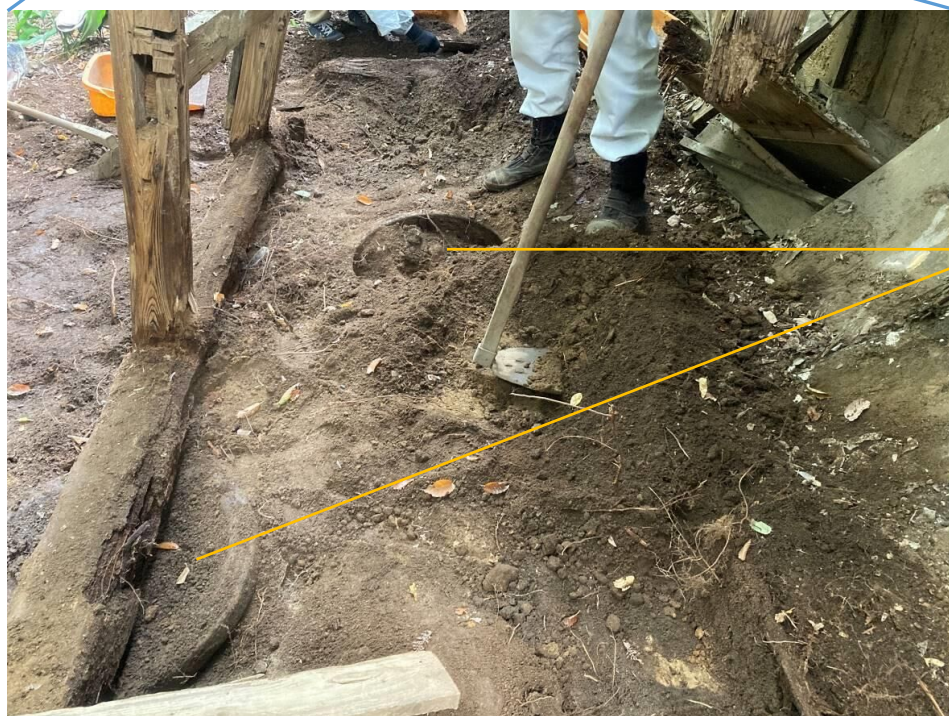
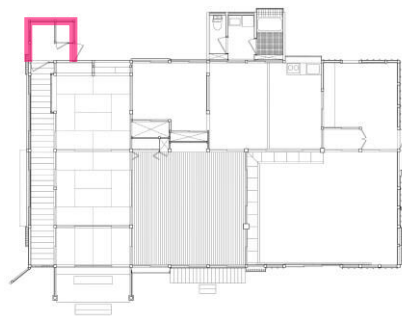
その他
シンク：基準 3

その他
インターホン：基準 3

床 ※新
タイル：基準 3

2 部位の設定（主屋：内部）

保全部分：ベンジヨ



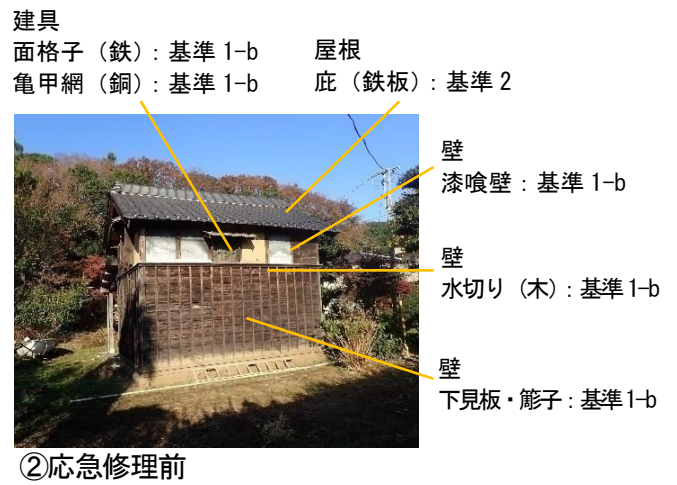
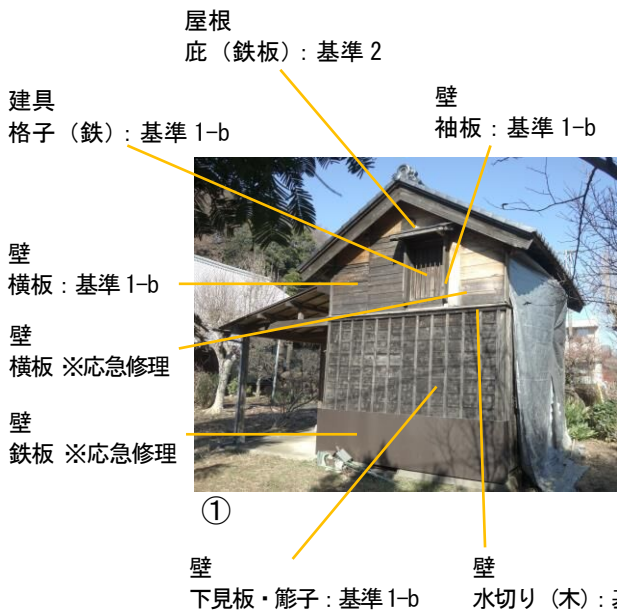
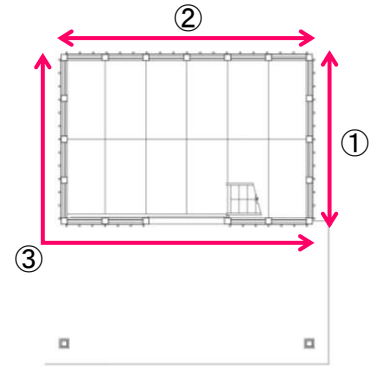
その他
便槽：基準 1-a

2 部位の設定 (米蔵)

(2) 米蔵

ア 外部

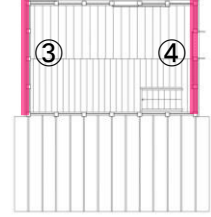
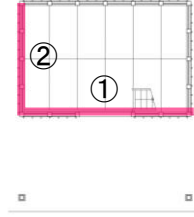
保存部分：外部



2 部位の設定（米蔵）

イ 内部

保存部分：内部



壁
板壁：基準 1-a

その他
階段：基準 1-b

床板：基準 1-b

①一階



天井
根太天井：基準 1-a

壁
板壁：基準 1-a

②一階



屋根
野地板：基準 1-b

壁
板壁：基準 1-a

壁
板壁 ※応急修理

③二階

その他
棚：基準 1-b



建具
板戸：基準 1-b
鴨居・敷居：基準 1-b

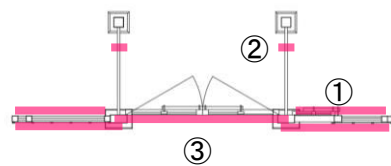
壁
板壁：基準 1-a

床板：基準 1-b

④二階

2 部位の設定 (門)

(3) 門 保存部分



控え柱 (両脇) ※新
鉄骨 : 基準 3

①



飼物 ※応急修理

②



屋根
棧瓦 : 基準 2

屋根
化粧垂木 : 基準 1-b
垂木裏板 : 基準 1-b
軒天井 : 基準 1-b
茅負など : 基準 1-b

壁
柄振板 : 基準 1-b

壁
下見板・押縁 : 基準 1-b

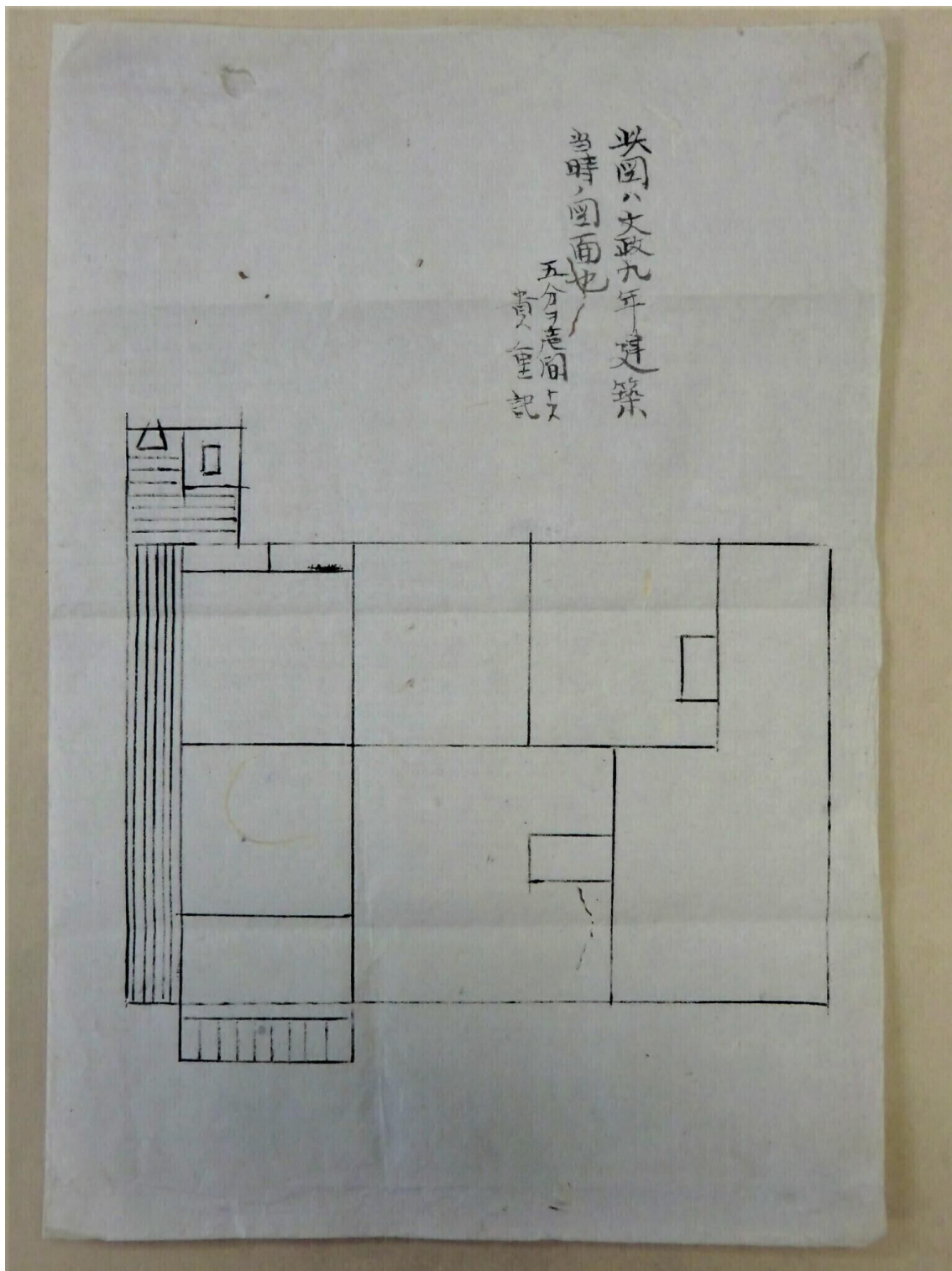
建具 (潜戸)
板戸 : 基準 1-b
門 : 基準 1-b

建具
板戸 : 基準 1-b
肘壺金物 1-a
門 : 基準 1-b

③

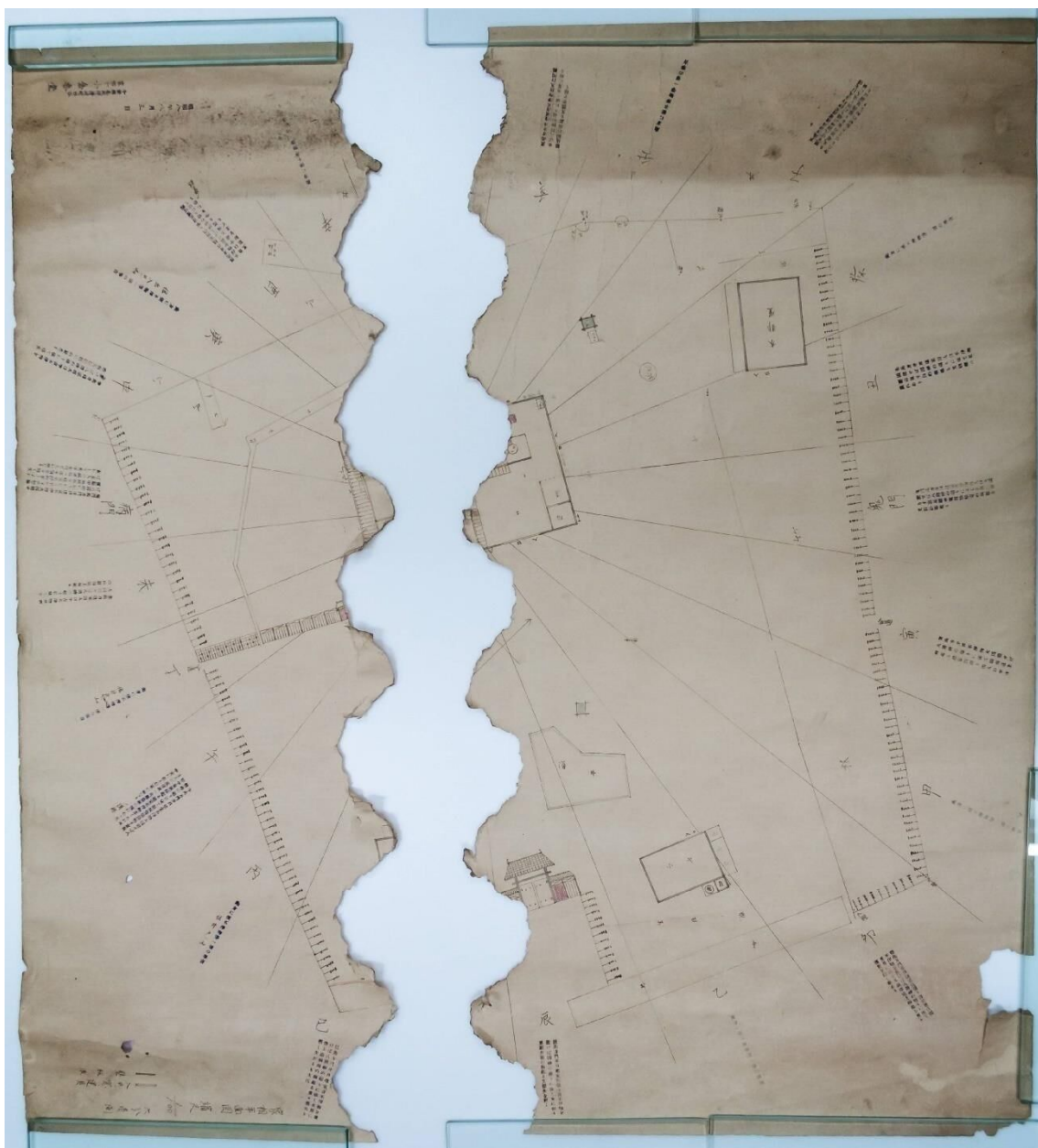
4 関連資料

3 関連資料



「文政九年母屋建築絵図」 鎌ヶ谷市所蔵 文政9年（1826年） 昭和初期に描かれたと推定される

4 関連資料



「渋谷家新家相図」鎌ヶ谷市所蔵 昭和8年（1933年） 中央部分は劣化等により欠損している

4 関連資料



「澁谷家家相図」 鎌ヶ谷市所蔵 嘉永元年（1848年）8月

4 関連資料



「佐津間の集落と佐津間城跡の航空写真」鎌ヶ谷市所蔵 昭和47年（1972年）8月



「佐津間地区の空撮」鎌ヶ谷市所蔵 昭和47年（1972年）8月

4 関連資料



「澁谷家母屋」
鎌ヶ谷市所蔵
大正12年（1923年）9月21日
※裏書「過ぎし日の大震災にも揺ぎ無き我が家よ」



「澁谷家」 鎌ヶ谷市所蔵 昭和12年（1937年）

4 関連資料



澁谷家 母屋土間から門・米蔵を撮影 鎌ヶ谷市所蔵 昭和13年(1938年)1月



「澁谷家 門〈正面〜右〉」 鎌ヶ谷市所蔵 昭和30年代(1955年〜1964年)か

4 関連資料



「澁谷家 門〈正面～左〉」 鎌ヶ谷市所蔵 昭和30年代（1955年～1964年）か



「澁谷家 塀」
鎌ヶ谷市所蔵
昭和30年代（1955年～1964年）

4 関連資料



「澁谷家 蔵」 鎌ヶ谷市所蔵 昭和38年（1963年）※裏書「1963 倉口」



「澁谷家 母屋」 鎌ヶ谷市所蔵 昭和40年（1965年）

4 関連資料



「澁谷家 母屋・庭」

鎌ヶ谷市所蔵 昭和40年（1965年）



「渋谷経重家」 鎌ヶ谷市所蔵 昭和45年（1970年）6月

4 関連資料

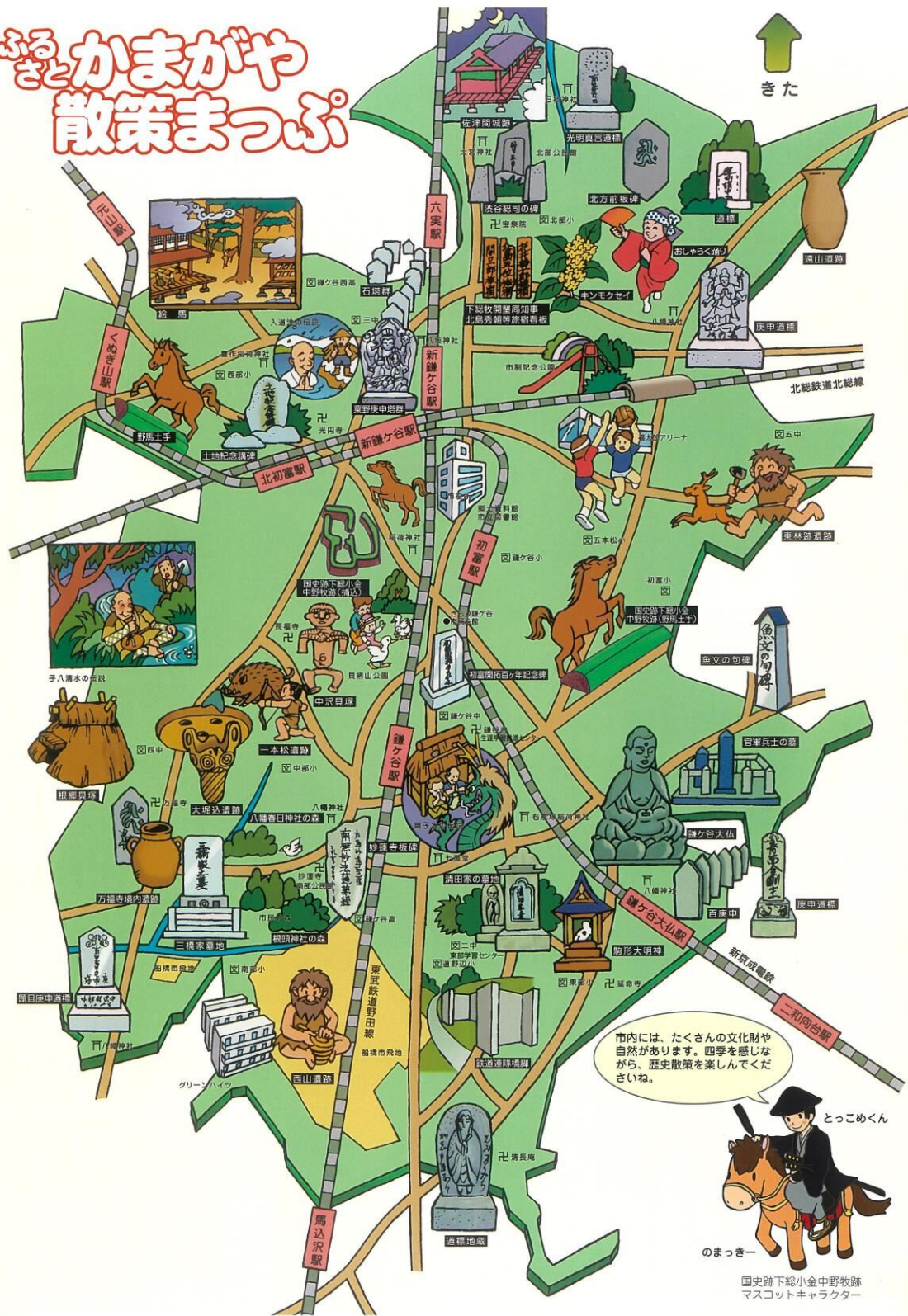


「澁谷家 母屋屋根葺替後」 鎌ヶ谷市所蔵 昭和53年（1978年）1月



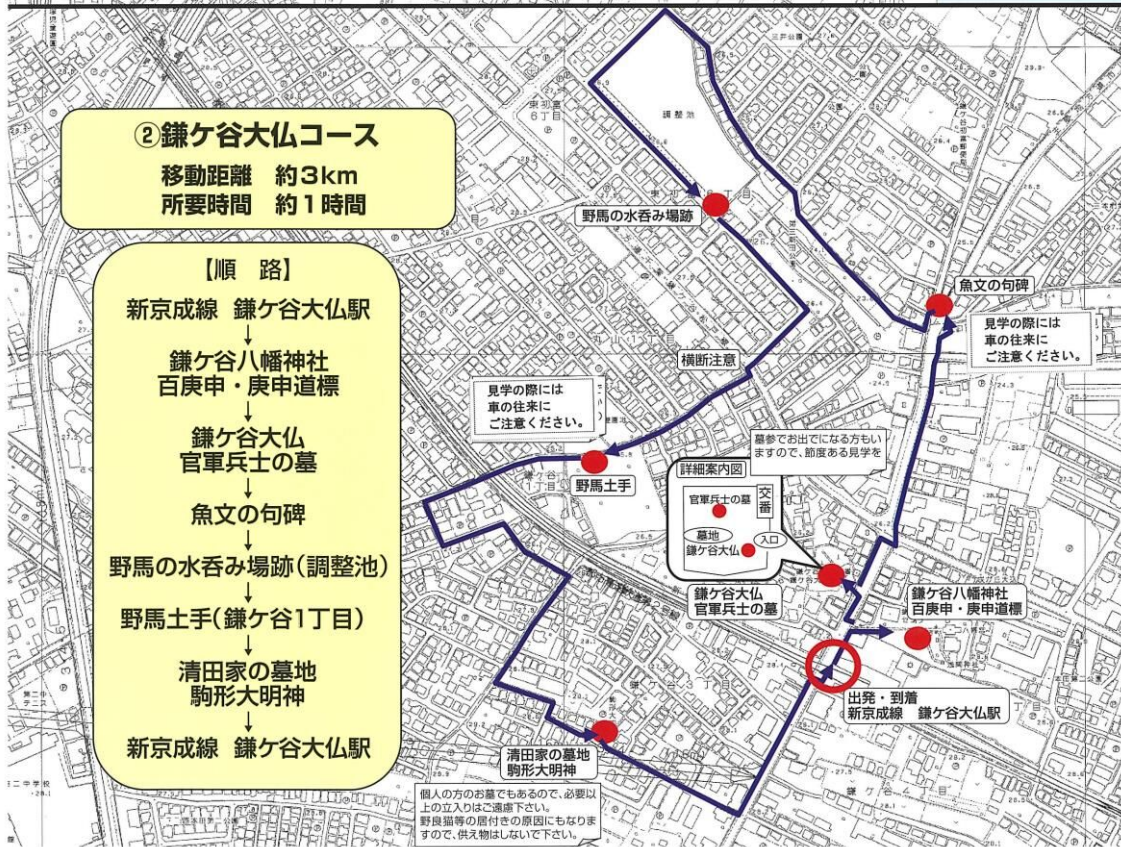
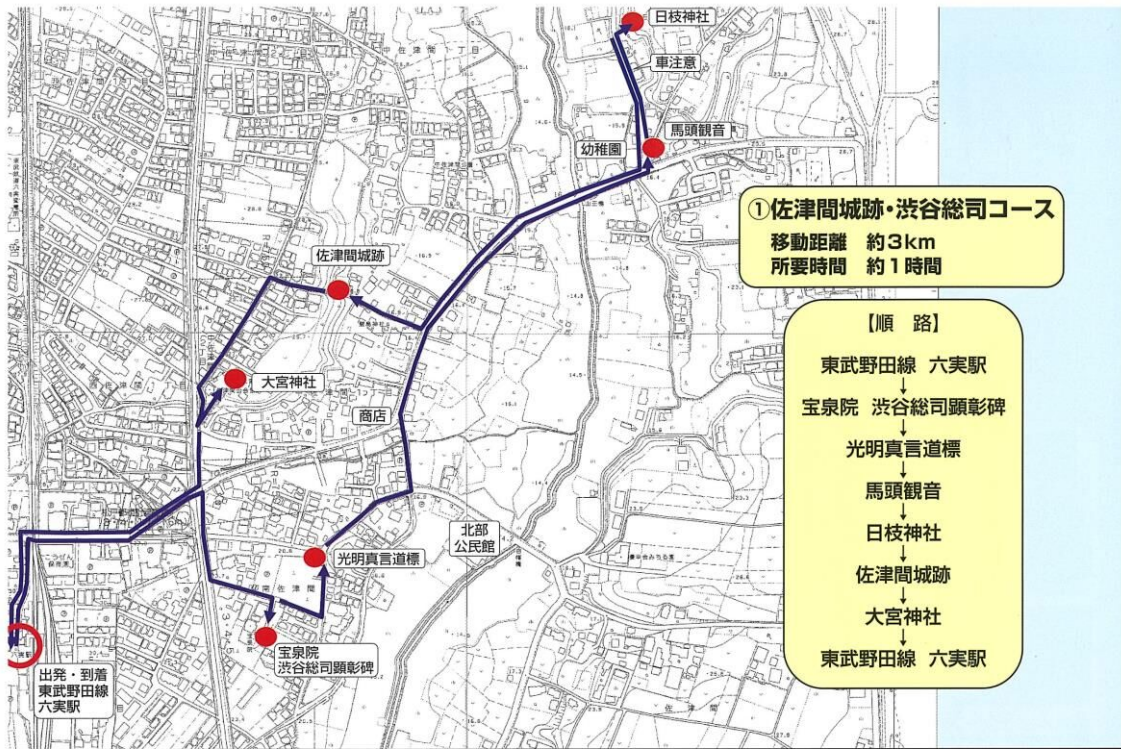
「澁谷家 母屋屋根葺替前」 鎌ヶ谷市所蔵 昭和52年（1977年）11月頃

ふるさとかがや 散策まっぷ



ふるさと鎌ヶ谷散策まっぷ

4 関連資料



ふるさと鎌ヶ谷散策まっぷ（佐津間城跡・渋谷総司コース部分）

4 ワークショップの記録

4 ワークショップの記録

(1) 開催日程と内容

	日にち	内容	参加人数
第1回	令和5年(2023年) 2月13日(月)	○現地見学 ○周辺の道標などの見学 ○澁谷総司資料室見学 ○ワークショップ	○佐津間自治会 ○市職員 計14名
第2回	令和5年(2023年) 3月12日(日)	同上	○市民団体等 計16名

(2) 意見のまとめ

★印は投票数だが、1人3票を持ち分とし、共感した内容に投票した結果である。参加者がどの提案に共感したかを知るための手法として取り入れたが、自分自身の提案にも投票可能なため、あくまでも参考である。

ア 第1回

気に入ったところ

	内容	意見の例
1	澁谷家を構成する景観要素(建物、門、庭、屋敷神、畑等)	○屋根が格好いい。 ○屋敷神がある。(★) ○門に風格があった。 ○庭の植栽がきれい。(★)
2	建物に残る古さや生活感	○思っていたより古いまま残っている。 ○懐かしい感じがする、手入れされている。
3	澁谷家の歴史や関連資料	○家相図等、貴重な資料が残っている。(★) ○澁谷家の歴史そのものに興味がある。(★★)

気になるところ

	内容	意見の例
1	植栽を含めた敷地内が未整理	○雑多なものがあり片付けがされていない。 ○樹木や植栽の剪定がされていない。
2	敷地内の境界や舗装	○私有地と市有地の境界がない。 ○景観面からアスファルト舗装が気になる。
3	インフラの未整備	○電気が通っていない。
4	今後の畑の活用方法	○今後の畑の活用方法と坪数(★)

4 ワークショップの記録

どのような場所になって欲しいか

	内容	意見の例
1	佐津間地区を伝えられる地域の中心的な場所になって欲しい	○あまり手を加えない状態でかつての佐津間地区を伝えたい。 ○六実駅も含めた広い視点から佐津間地区を伝えたい。 ○北部地区の中心的な場所になって欲しい。(★)
2	様々な人がいつでも見学でき、気軽に憩える場所	○若い人にも来てもらえる場所にしたい。(★★) ○北部地区以外の子どもにも伝えられるミニ博物館にする。(★) ○お茶をしながら休憩できる場所にしたい。(★★★)
3	歴史と自然を一体で楽しめる場所(佐津間城跡や大津川等)	○歴史のほか大津川の自然も一体的に楽しめる場所にしたい。(★★★) ○佐津間城跡につながる遊歩道を整備し公園となるような場所にしたい。
4	歴史を学び伝えられる場所(体験を含む)	○小学生の社会科見学の場としたい。 ○農業体験ができる場所にしたい。 ○着物で撮影したり江戸時代の体験ができる場所にしたい(飲食や宿泊も)。(★) ○赤報隊の歴史を含めた澁谷家の歴史を伝えられる場所にしたい。
5	観光やロケ地等、市外にも開いた場	○市外の人も知っている観光地になって欲しい。(★) ○歴史の観光名所になって欲しい。 一方で「観光地にするのか?」という意見も見られた。

やれること、やってみたいこと

	内容	意見の例
1	みんなでお片付けや剪定をする	○市民が参加し建物や敷地内の荷物を整理する。(★) ○佐津間地区に多くいる植木屋が樹木や植栽の剪定をする。(★★★)
2	佐津間城跡も含めた環境整備をする	○澁谷総司資料室に来た見学者が澁谷家も佐津間城跡も見学できず残念がっているため。 ○佐津間城跡の階段が危険なため。(★★★)
3	周辺の歴史的な資源との回遊動線を創出する	○六実駅からの見学コースを作る。 ○栗野から遊歩道を整備する。 ○澁谷家、澁谷総司資料室、佐津間城跡、宝泉院、鮮魚街道の道標等をめぐる見学コースを作る。(★) ○見学コースに案内看板を整備する。(★★★) ○「ふるさとかまがや散策マップ」に掲載してもらおう。(★★)

4 ワークショップの記録

4	資料展示やイベントを開催する	<ul style="list-style-type: none"> ○澁谷家の資料や、今では珍しい古物や写真等を展示する。(★) ○ボランティアで畑を活用し、収穫した野菜を販売したり定食喫茶等をする。 ○畑を利用し子どもとお年寄りの交流会を開く。(★★★) ○芋煮等、子どもや老若男女が集まるイベントを開く。(★★★) ○お花の展示会や骨董市、フリーマーケット等を開く。 ○建物をライトアップする。(★)
5	子どもたちに歴史を伝える	<ul style="list-style-type: none"> ○まず教員に紹介したい。(★) ○澁谷総司を対象にした授業案を作る。 ○子どもを対象にした今回のようなワークショップを開催する。
6	澁谷総司資料室を併設する	<ul style="list-style-type: none"> ○せつかくなので現在の澁谷総司資料室の機能を澁谷家に移動する。(★)
7	軽食等の飲食ができる場所にする	<ul style="list-style-type: none"> ○きれいな庭を眺めながらお蕎麦を食べる。(★★) ○柏市の旧吉田家住宅の「長屋門カフェ」のような飲食ができるようにする。 ○通りから見える場所にカフェ等、目につくものを作り人を引き込む。
8	多くの人に知ってもらえるよう情報を発信する	<ul style="list-style-type: none"> ○澁谷家を知っている人が少ないと思うので SNS 等を活用し発信する。 ○インスタ映えするようにする。
9	茅葺きに戻す	<ul style="list-style-type: none"> ○茅葺きに戻すことができるか。(★★)
10	事例見学会を実施する	<ul style="list-style-type: none"> ○茅葺きを修理する参考に「野口英世記念館」(福島県耶麻郡猪苗代町)を見学する。

4 ワークショップの記録

イ 第2回

気に入ったところ

	内容	意見の例
1	歴史や文化や日本の原風景を感じる全体の雰囲気	○澁谷総司の家として門や蔵、間取り等、全体の雰囲気(★) ○土間から見える茅葺や梁組、大きな仏壇、素敵な床の間、丈夫な家の造り
2	周辺も含めた景観	○庭園や屋敷神、野鳥が多く自然が残っている。
3	懐かしさを感じられる	○子どもの頃の思い出がよみがえり懐かしさを感じる。
4	江戸と現代が混ざっている	○江戸時代と現代の様式が一緒になっている(★)。 ○時代を反映する生活用具 ○江戸、明治、大正、昭和、平成、令和の歴史のつながりを感じた。
5	澁谷総司資料室とのつながり	○澁谷総司資料室とつながっている。(★)
6	古さや生活の様子が伝わる建物 昔の生活を感じられる	○インテリアから昔の生活のリアルを感じられてよかった。 ○昔の生活が想像できておもしろい。 ○実際の暮らしを感じられる。
7	絵図から見る建物	○現在の建物と絵図に残っている建物の差異

気になるところ

	内容	意見の例
1	積層した時代のどの時代に特化するか	○時代が混在しているが、どの時代に特化していくのか。(★★) ○歴史の整合性は大切なので、江戸時代に特化するのがよいか。 ○時代が混在している様子から、どのように澁谷家を説明するか。
2	敷地内が未整理	○敷地内に雑多なものがあつた。
3	今後の整備方針や維持管理等	○トイレや駐車場の整備(★★★) ○バックヤードの活用方法 ○建物の維持管理(★) ○予算や期間 ○日常管理の人員 建物の造り(前向きに気になったところ) ○土間とザシキの関係、名主の家ならではの造りがあるか。

4 ワークショップの記録

どのような場所になって欲しいか

	内容	意見の例
1	鎌ケ谷にとって大切、シンボルになる場所	○地域や鎌ケ谷にとって大切な場所 (★) ○鎌ケ谷のシンボルになる場所 ○鎌ケ谷=澁谷家となるような歴史スポット
2	佐津間地区を盛り上げる場所	○佐津間を盛り上げる場所 (★★★★) ○何度でも来たくなるような場所
3	みんなの憩いの場所	○誰でも気軽に訪れられる場所、みんなが集まり楽しめる場所 ○鎌ケ谷の歴史を知れる場所として、市民にも子どもたちも気軽に訪れられる場所 ○たくさんの方が集まる場所 ○時間としがらみを忘れられる場所
4	子どもも鎌ケ谷の歴史を学び・発信する場所	○子どもたちが鎌ケ谷の歴史等に興味を持ってくれる場所 ○周辺住民の生涯学習を援助できるような場所 ○郷土文化を知り、発信する場所 ○名主の仕事や1年間の仕事等を知ることができる場所
5	歴史の移り変わりが残る場所	○江戸時代の建物に、生活用具等の歴史の移り変わりを残して欲しい。(★)
6	休憩しながら飲食ができる場所 (★)	
7	イベントができる場所	

やれること、やってみたいこと

	内容	意見の例
1	佐津間地区を大きな資料館とする	○佐津間にある大津川等の資源と澁谷家の資料をつなげる。 ○佐津間城跡ともつなげる。(★) ○周辺の文化財等も紹介する。 ○ウォーキングコースに含める。 ○野鳥をテーマにした活用をする。
2	子どもを巻き込み活性化させる	○子どもを含めて活性化させる。(★★★★★★) ○夏休みや冬休み等に小学生向けのワークショップを開催する。(★★★) ○子ども向けの歴史学習講座を開く。
3	模型や資料を展示する	○復原模型を作る。(★) ○映像やQRコードを活用し紹介する。(★) ○澁谷総司に関する展示をする。 ○名主の仕事がわかる展示をする。

4 ワークショップの記録

4	澁谷総司資料室を澁谷家にまとめる	○澁谷総司に関する資料を一か所で見られるよう、資料室の資料を澁谷家にまとめる等
5	昔の暮らしを体験する	○宿泊体験をする。(★) ○江戸の暮らしを体験する。
6	イベントを開催する	○フォトスポットにして写真展やコンテストを開催する。(★) ○四季ごとの体験講座を開く。 ○「歴史を学ぶ」、「健康のため」等、何かをプラスしたツアーを開催する。
7	飲食や物販ができるようにする(宿泊)	○主屋はレストラン、バックヤードは宿泊できるようにする。(★) ○ノスタルジックカフェにする。(★★) ○カフェエリアを作る。(★★★★) ○居間を復元しカフェテリアにする。 ○畑でとれた野菜販売したりランチで出したりする。
8	市民が参加して庭園や屋敷林の整備する(復原)	○ボランティアを募る。(★★★) ○庭と屋敷林を復元する。(★) ○庭を手入れする。(★★★★) ○樹木から時代を想像できるので整備を手伝いたい。 ○樹木や植物が好きなので庭づくりに協力したい。 ○庭を整備して四季を楽しむ。
9	建物と景観を活かしたロケ地にする	○映画やドラマロケを誘致する。
10	情報発信をする	○SNSで情報発信をする。
11	キャラクターやオリジナルグッズを作る	○澁谷総司をキャラクター化する(イケメン)。(★★) ○オリジナルグッズを販売する。

4 ワークショップの記録

(3) 当日の様子

ア 第1回(当日の様子)



現地見学の様子



受付の様子



ドマ(手前)から見える梁や茅葺きを解説



仏壇や神棚を見学



庭園を見学



米蔵を見学



鮮魚街道沿いにある道標を見学

4 ワークショップの記録



ワークショップの様子（全体）



各班で検討している様子（1班）



各班で検討している様子（2班）



各班で検討している様子（3班）



各班で検討している様子（4班）



発表の様子



共感できたアイデアに投票

4 ワークショップの記録

イ 第2回（当日の様子）



開会の様子



ドマ（手前）から見える梁や茅葺きを解説



神棚や仏壇のあるザシキを見学



部屋の中から庭園を眺める



表から屋敷構えを見学



屋敷林や石塔（屋敷神）等を見学



鮮魚街道沿いにある道標を見学

4 ワークショップの記録



ワークショップの様子（全体）



各班で検討している様子（1班）



各班で検討している様子（1班）



各班で検討している様子（1班）



発表の様子



共感できたアイデアに投票

5 見学会の記録

5 見学会の記録

(1) 開催日程と内容

	日にち	内容	参加人数 合計88名
第1回	令和5年(2023年) 5月20日(土)	主屋、米蔵及び 門の見学	前半14名 後半13名 計27名
第2回	令和5年(2023年) 5月24日(水)	同上	前半16名 後半15名 計31名
第3回	令和5年(2023年) 6月1日(木)	同上	前半15名 後半15名 計30名

(2) アンケート結果

集計方法は以下とした。

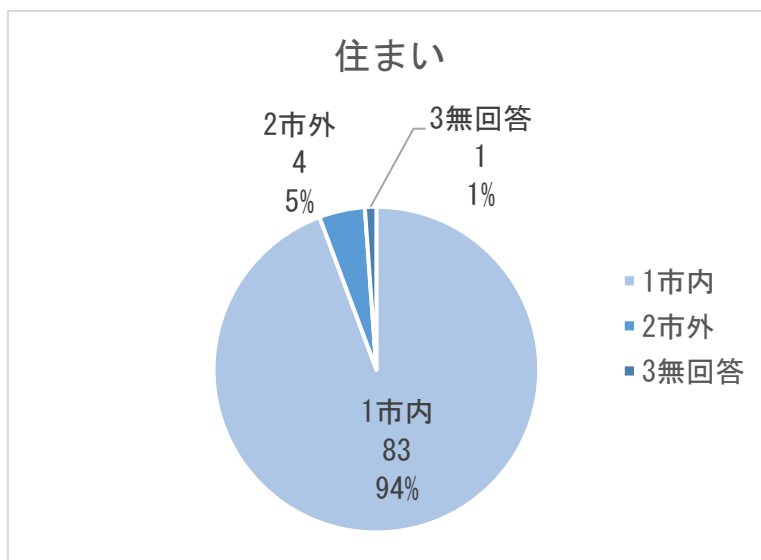
ア SA^{注10}は100%になるため円グラフ、MA^{注11}は100%にならないので棒グラフにした。

イ SAは上の数字が件数、下の数字が母数88のときの割合。

注10 SA (シングルアンサー) : 選択肢から1つのみ回答

注11 MA (マルチアンサー) : 選択肢から複数回答

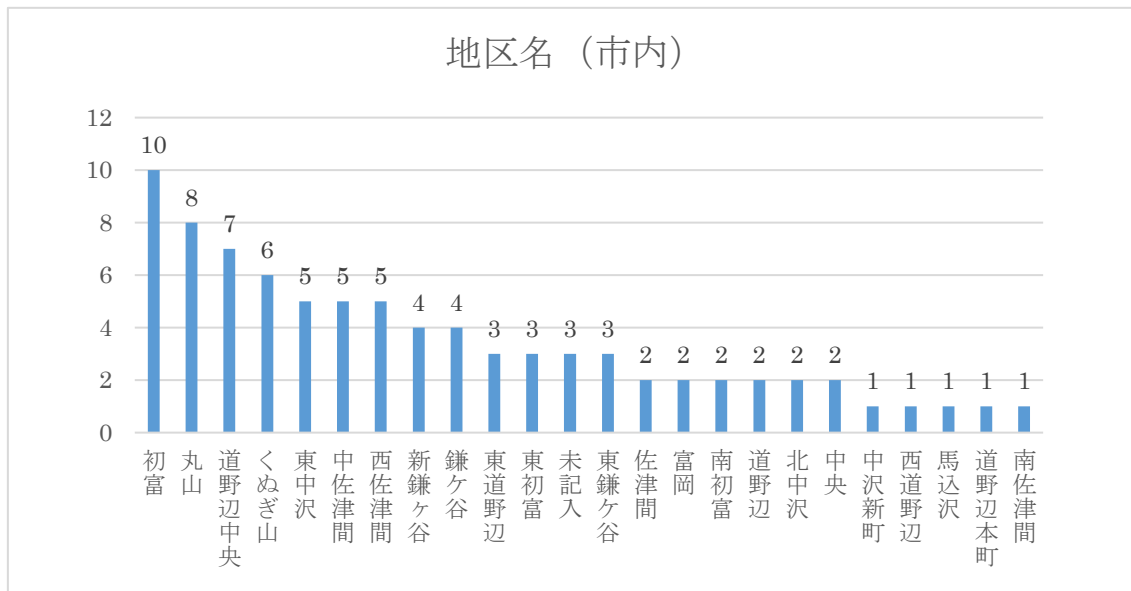
住まい (SA)



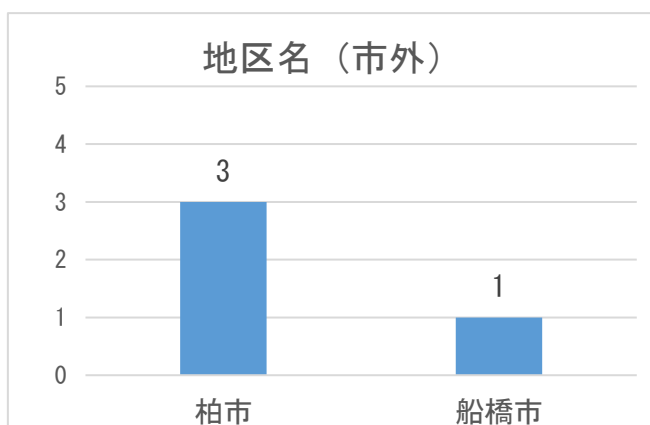
5 見学会の記録

地区名（SA）（割合表示はなしとした）

市内

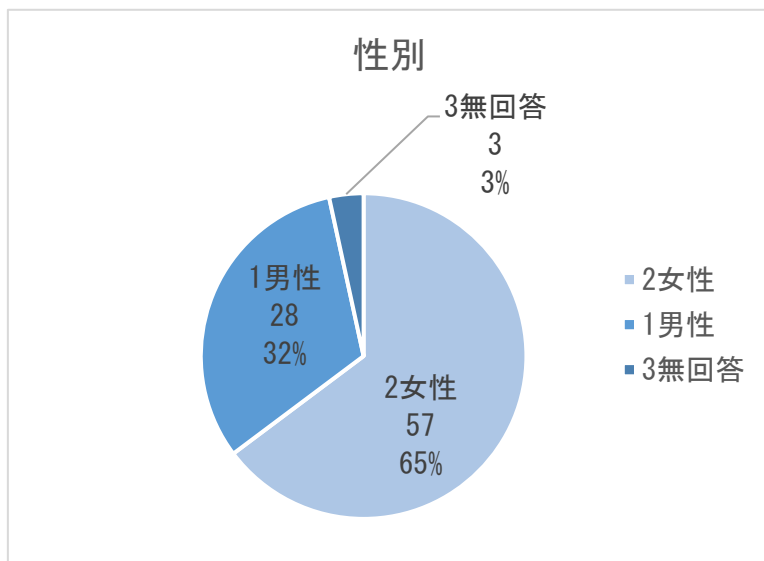


市外

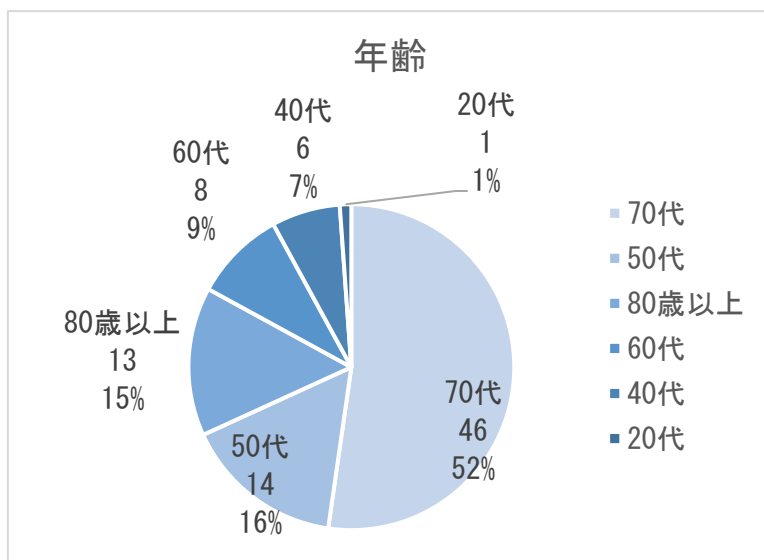


5 見学会の記録

性別 (SA)

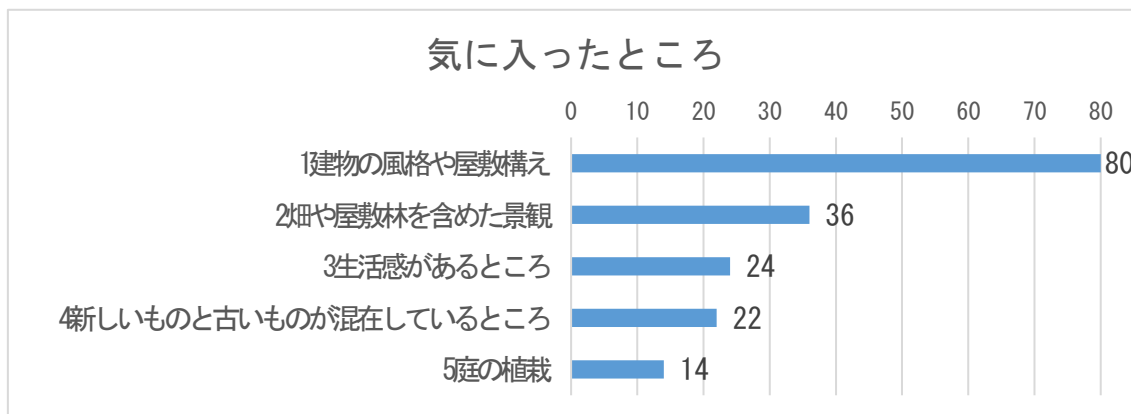


年齢 (SA)



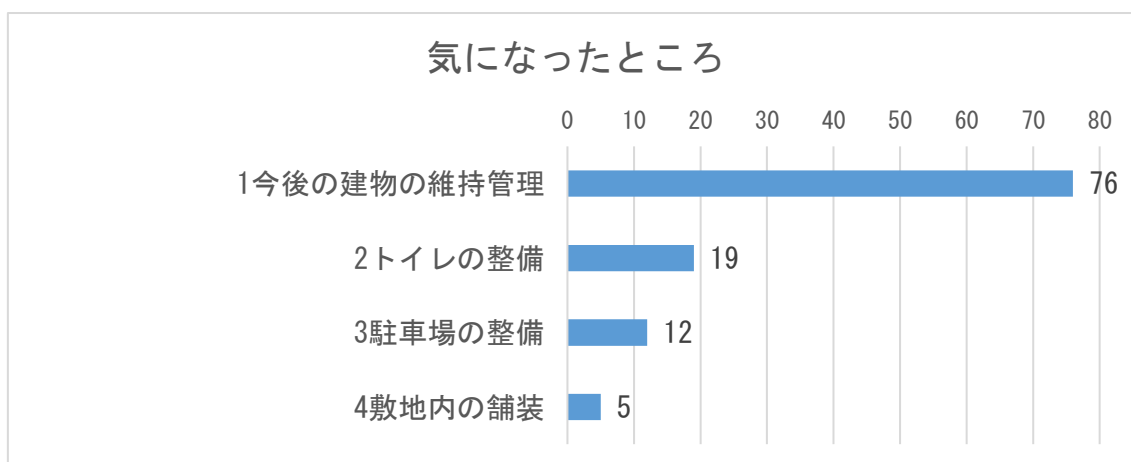
5 見学会の記録

気に入ったところ (MA)



無回答を除く

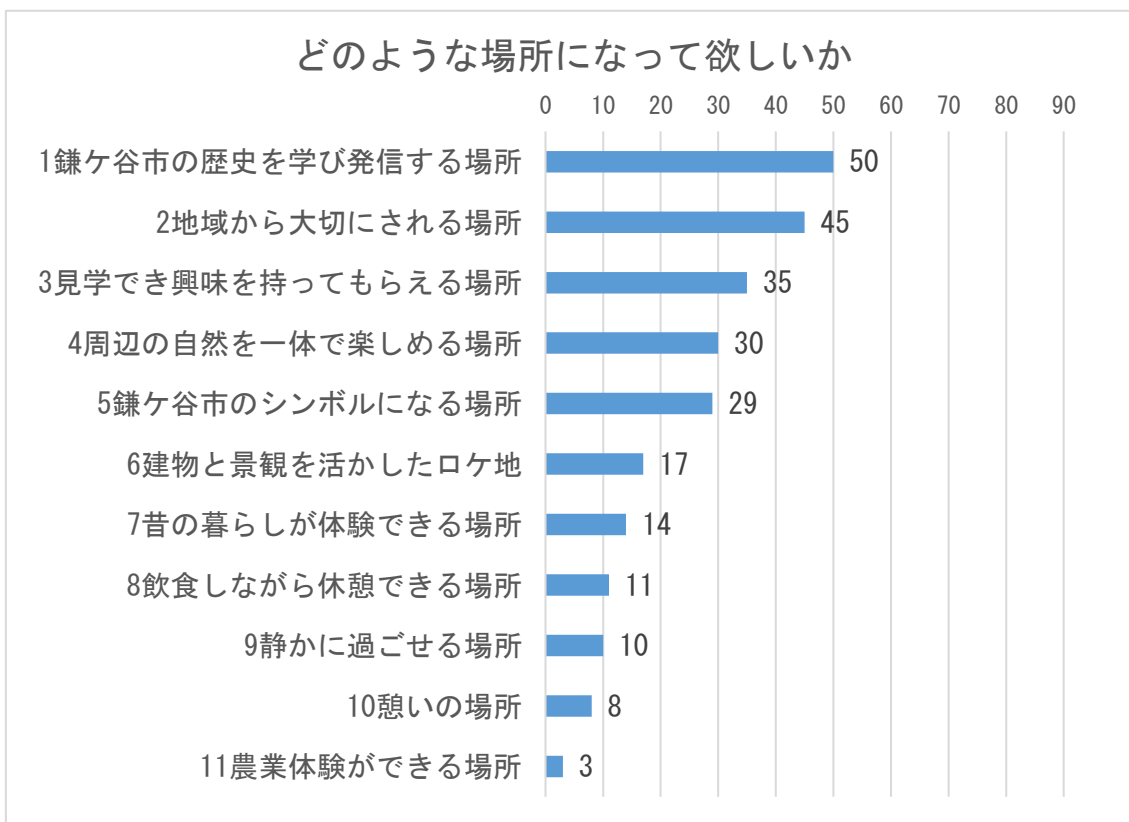
気になったところ (MA)



無回答を除く

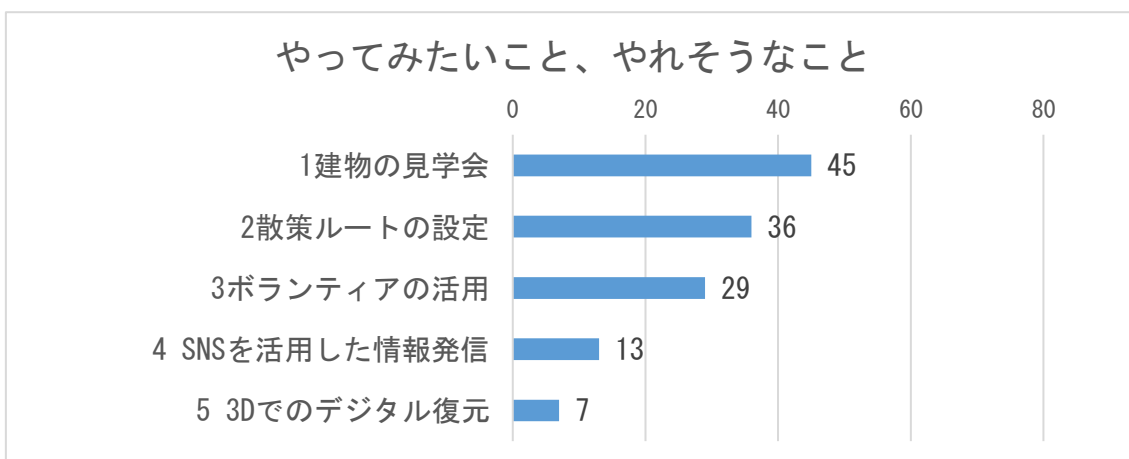
5 見学会の記録

どのような場所になって欲しいか (MA)



無回答を除く

やってみたいこと、やれそうなこと (MA)



無回答を除く

5 見学会の記録

自由記載（回答は適切な回答項目に移動した）

【気に入ったところ】

- 日常生活が残る古い住宅は初めて見学した。これからも訪れたいと思う。ありがとうございました。
- 神棚、仏壇。
- いろいろな物を大事に使用していたことがわかった。私の子どもの頃の者と一致するものもあり懐かしく思った。（80歳以上）
- 建築当時の資料も残され、当時からほぼ変わらずに残されている箇所が多いことに感心した。
- 地形と建物の調和。
- 古い建物に興味があるので見学できてよかった。実家に似ていた。（50代）
- 屋敷林と建物の位置関係が昔の人々の生活を想像させてくれて興味を持った。
- 鎌ヶ谷市のトトロの森とサツキとメイの家みたい。子どもが「まっくろくろすけー」と喜びそう。
- この種の古い建物は貴重であり、維持管理に時間とお金がかかると思うが大事にして欲しい。
- 200年という時間と空間を感じさせる。
- これからも新しいものを取り入れ、古い物を残し、次回また見学できることを楽しみにしている。
- 昔の田舎のおばあさんの家に行ったような懐かしい思いがした。
- 澁谷総司の生家として保存価値がある建物だと思う。柱や梁の太さ等は目を見張るものがある。周りの景観を含めて総合的に整備してもらいたい。
- 書院も残り、仏壇、神棚も古い様式のまま目にするのができた。土間上部の立派さはテレビで見た「100年の名家」のように感じた。
- 昔の建物の柱の太さ等、現在の住居との違いに驚いた。
- 全体的に200年前の建物を見る機会はなかなかないのでよかった。
- 柱は梁が立派だった。
- 建物の梁がすごい。
- 古民家に興味がありたまに見学しているが、今まで見た建物より構造がしっかりしている。
- 大屋根と屋敷林のたたずまいのインパクトがあった。土間の大空間と主客の入口～床の間～庭の雰囲気の違いがおもしろい。
- 畑や奥の景観は絵になる。9mある屋根、太い梁もよい。門も素敵だった。
- 屋敷の中から見る門の風景がよかった。気持ちが落ち着く。
- 屋根の高さに驚き、昔の人々の生活の一端が偲ばれた。
- 田舎の我が家を思い出した。

5 見学会の記録

- 屋根の形の美しさ、植物・木・花もよい。お手入れをもう少ししておくとういと思った。
- 欄間、仏壇、神棚、床の間等がよかった。
- 建具、梁等、立派なものが使われていてよかった。
- 自分の本家の造りに似ている。
- 土間の土がでこぼこになっていた。昔の自分の生まれた家もそうだったので、なんともいえない気持ちになった。
- 歴史的な背景と裏の台地（佐津間城跡）との関係性。
 - 1 稲荷大明神、馬頭観音、雷電宮等、屋敷林側
 - 2 土間
 - 3 玄関、ナカノマ、オク
 - 4 仏壇、神棚
- 門、主屋、裏の林も一緒に保存されることはとてもよく、当時の様子を思い浮かべることができる。早く整備されることを望む。
- 昔の建築の様子を知ることができる。
- 200年前の「屋敷構え」の立派がよくわかった。20年前まで居住されていて、古い構えと直近の生活感が混在しているのが興味深い。
- 建物の柱や梁の立派なことに歴史を感じる。
- 茅葺の上に鉄板屋根とは考えもしなかった。

5 見学会の記録

【気になるところ】

- 時代がわかりにくい。家具の年代がばらばら。
- 整備後どのように活用されるのかとても期待している。近隣の市だと市川の木内ギャラリーの例等もぜひ参考にしていただければと思う。駅から少し歩くので駐車場やバスがあると集客しやすいかと思った。
- なるべく古い部分を残して欲しい。
- 復原できるものはできるとよい（建物、内部、庭）。
- 駐車場のほかに駐輪場の整備が気になる。子どもが触って体験できるように補強して欲しい。「見るだけ、触ってはだめ」とならない方がよい。
- 民家との間に塀や壁があったほうが外部の人間が見学しやすい。バリアフリーは必須。
- 維持管理をどのようにしていくか専任のボランティア団体の立ち上げが必要かもしれない。
- 鎌ヶ谷の歴史の一環として、澁谷家が担っていた役割、澁谷総司の紹介等を積極的にアピールしたほうがよいのでは。
- どこまで修復していくか、また活用方法が気になった。
- 今後の調査等で新たにわかったことが出てきたら、募集をかけて説明してもらえると嬉しい。楽しく話を聞いた。ありがとうございました。
- 庭の整備。
- 気楽に見学に来られるように、清潔感も考慮してもらいたい。
- 生きている人がいるうちに、もっと早く鎌ヶ谷市が整備に取りかかればよかったように思った。
- 資料が大分残っているのに感心する。資料を元に昔の雰囲気や納得できるようにできるか。素晴らしい。
- 屋敷周りや庭の整備。
- お金がかかりそう。
- 保存する費用は相当かかると思われる。駐車場は20台くらいがよいと思われる。
- 建物だけではなく、庭や屋敷林等の周囲と一体となった修復・維持管理をして欲しい。
- この近くの自治会の方に協力を呼びかけ、地域に根ざした維持管理ができるとよいと思う。庭園も楽しみ。
- まだまだ残っている生活用具等の整理や片付け。
- 市での管理維持が費用面で心配。これだけの大きな建物の維持管理は何年もかかると思います。残したいが費用が心配。
- 植木等は考えて欲しい。歴史ある文化財を市で管理することで、これからたくさんの鎌ヶ谷市民の方々が利用できる取り組みを、市の方に考えていただきたい。
- 修復を行うのは大変だと思うが、どうか安全に行って欲しい。新しい澁谷家で見学会ができることを楽しみにしている。
- 少し床がぎしぎししていた。

5 見学会の記録

- 多数の文書の内容を知りたいと思った。
- 以前から遠目に見て、一度拝見してみたいと思っていたところだった。鎌ヶ谷にもこのようにすてきな所があったことに感激している。
- 近隣の生活されている方へ見学会等で迷惑にならないか心配。
- すべてこれからですね。整理された後にまた見学したい。
- 調査や整備が大変だと思うが、少しずつ進んでいくのを楽しみにしている。
- 最終的にどのような形に整備されるか楽しみだが、相当の期間と費用がかかると思う。
- 今後どのように保存・改築を進めていくのか気になる。
- 一般市民に見学できるように多くの人に知ってもらえるように整備されるとよいと思う。
もちろん予算の問題もあるが、市には重点的に取り組んでもらいたいと、今日の見学会でなおさらそう思った。
- 来訪時の足の便を考える。
- 普段の保安が難しそう。昔の貴重品が無造作に置かれているので盗難等が心配。
- 維持管理は大変だと思うが残してもらいとてもありがたいと思う。
- 今後整備されてみなさんに見てもらうまでには大変だと思う。
- 家のなかの間取り。
- 澁谷家と大宮神社、佐津間城とのつながりはあるのか。澁谷家とはどのような家系なのか。

5 見学会の記録

【どのような場所になって欲しいか】

- あまり知られていない歴史をもっと知りたいと思った。
- 手芸の会をしているので、見学もして展示もできるようにできるとよいと思った。
- 文化的な展示や音楽会等に使われてもよさそうだと感じた。
- 鎌ケ谷の有名人（森本草介）等の作品の展示ができるような場所。新しいことにもコラボして欲しい。市民の誰もが鎌ケ谷にふるさと意識を持てるようにして欲しい。
- 人の出入りが多くなると思うので、近隣の方々に理解を得られる大切な場所になるとよい。
- 昔の人々の暮らしを伝えながら地域の人々に親しまれる場所になって欲しい。
- 建物と景観を活かしたロケ地にした観光地化。
- 5月中旬、くもり、気温19度ほどだと、とても心が安らぐ。義務教育に馴染めない子どもたちがリラックスして仲間を見つけられるところになるとよいと思う。
- 歴史を学ぶ場所として気軽に立ち寄れ、四季を通じた花や植物が見学できる自然を生かした庭園を、1年中、年代を問わず楽しめる場所になるとよいと思う。
- 駅から割と近いので近隣住民が気楽に楽しめる場所になって欲しい。
- 子どもたちも学習の場として活用できればと思う。歴史がここにあった。
- 電車で来た方たちが休憩できて飲食ができればよいと思う。
- 澁谷家のビフォーアフターも期待する。※ロケ地と飲食にバツマークあり。
- 木々の高さや太さを考えると、これがどのように整備されるのか興味深い。
- 今後整備され見学者が増えることを期待する。
- 文書の目録、解説等が早期に進むことを期待したい。建物整備等の進捗状況も時々情報提供や公開があれば教えて欲しい。
- 保存のためには予約制の見学がよいと思う。
- 素晴らしい住宅なのでぜひ保存して欲しい。
- 文化的な体験ができる場所。
- お庭を見ながら抹茶を楽しむ。
- 鎌ケ谷市は文化交流ができる場所が少ない。ただの展示だけでは人はのらないので、きれいになったら物作りや展示、景観を生かした茶屋のような、今風で言えばカフェ等お茶くらしできるとよいかなと思う。
- 琴や茶道等のイベントを行ってはどうか。
- 現在のものを再生して見学したときに理解できるようにして欲しい。
- 鎌ケ谷市の歴史を知るきっかけや佐津間地域に関心を持つことができた。
- 個人の方々の作品展示等ができるとうれしかった。ひな祭りや子どもの日、習字や折り紙等。
- 約200年の歴史的建造物にふさわしい整備を期待する。
- 保存を第一に考えて欲しい。
- ぜひ整備されることを望む。
- あまりにも生活感がありすぎ、今後の整備に期待している。

5 見学会の記録

やってみたいこと

- 私にはわかりません（70代）。
- 散策ルート案
 - 1 栗野コミュニティーセンター→澁谷家の墓地にお参り→澁谷家見学
 - 2 鮮魚街道を歩く→澁谷家に立ち寄る
- クラウドファンディングで整備費用を募る。
- 整備には時間もお金もかかると思いますが市に期待している。ありがとうございました。
- 里山、田んぼ、道祖神等、昔の人々の生活の様子等が想像できるような散策ルート設定や、案内板を設置して欲しい。
- 主屋の柱が一番魅力だと思ったので、それを一押しで昔の建物の学習や社会科見学。
- 近隣に散歩コースもあり、ボランティア等の活動で定期的に案内ができるとういと思う。
- 古民家に興味のある方を募り、整備し、庭も手入れし、ゆっくり眺められる場所として欲しい。
- 広い敷地、管理するためにもボランティアが必要だと思う。
- 寺子屋風の自習室、写経、読書等の場所として提供する。
- 足を運べない方に発信して欲しい。
- 佐津間城跡も一緒に整備して欲しい。
- 建築や文化に関する講座やイベント。
- 佐津間城跡、古道、切り通し、大津川沿い等を合わせて整備し、周辺を散策できるルートを作って欲しい。
- 人がたくさん集まれる場にならないと、ただ置かれている物になってしまう。人の目を楽しませる場にして欲しい。
- 整備後にまた見学したい。
- 流山市の一茶双樹記念館は地味で、市民が自由に出入りしている。使えるようにして欲しい。飲食ができるともっとよいのかもしれない。
- 佐津間自治会の澁谷総司資料室とセットにできないかと思う。ツアーにしてはどうか。
- 若い人にも古きよい点に関心を持ってもらいたい。
- 片付けボランティア等で整理しながら昔のもの等に興味を持ってもらうようなイベントをしてはどうか。
- ホームページを活用した情報発信。
- 歴史散策等、この建物と土地に触れ合える場づくりに関わりたい。
- 私は鎌ヶ谷で育ったわけではないが、今の子どもたちに鎌ヶ谷の昔を知ってもらう機会が多くなるとよいと思う。
- 鎌ヶ谷市の歴史を子どもたちに伝えたいと思う。

5 見学会の記録

【その他】

- 大変興味深いご説明、ご案内をいただき、ありがとうございました。
- 今回の調査のやり方等を話していただき興味深かった。ありがとうございました。
- またの機会にぜひ家族を連れて見学したい。ありがとうございました。
- 貴重な住宅なのでぜひ末永く残して欲しい。今回は整う前の状態が見られてよかった。
- 貴重な文化財の保護に取り組んでくださりありがとうございます。
- あまり身近すぎると歴史の重みがなくなる。
- 今日の見学会を計画されてありがとうございました。
- 大仏近くの鎌ヶ谷に住み50年近くなる。家が白井市や船橋市に近く鎌ヶ谷市についてはあまり知らなかった。今日は新しい発見がありとても充実した時間だった。ありがとうございました。

5 見学会の記録

(3) 当日の様子



表から屋敷構えを見学



開会の様子



神棚や仏壇のあるザシキを見学



庭園を見学



主屋背面にある石塔（屋敷神）を眺める



米蔵の解説の様子



門の解説の様子